

一般社団法人 九州経済連合会

第 63 回定時総会 資料

《 決議事項 》

第 1 号議案 2022 年度 収支決算 (案)

第 2 号議案 理事、監事 選任 (案)

《 報告事項 》

報告事項 1 2022 年度 事業報告

報告事項 2 2023 年度 事業計画 及び 収支予算

2022年度 収支決算（案）

財 務 諸 表

（2022年4月1日～2023年3月31日）

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 財産目録
4. 財務諸表に対する注記
5. 収支計算書

1. 貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	90,947,413	96,833,049	△ 5,885,636
立替金	17,669,855	9,018,966	8,650,889
未収金	891,753	603,973	287,780
流動資産合計	109,509,021	106,455,988	3,053,033
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	160,727,000	151,967,000	8,760,000
運営準備引当預金	162,500,000	162,500,000	0
周年事業引当預金	23,000,000	23,000,000	0
減価償却引当預金	11,415,588	10,510,299	905,289
特定資産合計	357,642,588	347,977,299	9,665,289
(3) その他の固定資産			
備品什器	3,438,182	4,343,471	△ 905,289
入居保証金	10,306,728	10,306,728	0
その他の固定資産合計	13,744,910	14,650,199	△ 905,289
固定資産合計	371,387,498	362,627,498	8,760,000
資産合計	480,896,519	469,083,486	11,813,033
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,436,195	698,000	738,195
前受金	0	300,000	△ 300,000
預り金	503,731	774,440	△ 270,709
流動負債合計	1,939,926	1,772,440	167,486
2. 固定負債			
退職給付引当金	160,727,000	151,967,000	8,760,000
固定負債合計	160,727,000	151,967,000	8,760,000
負債合計	162,666,926	153,739,440	8,927,486
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	318,229,593	315,344,046	2,885,547
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(196,915,588)	(196,010,299)	(905,289)
正味財産合計	318,229,593	315,344,046	2,885,547
負債及び正味財産合計	480,896,519	469,083,486	11,813,033

2. 正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
特定資産受取利息	333,791	270,634	63,157
②受取入金			
受取入金	1,200,000	1,200,000	0
③受取会費			
受取会費	292,187,500	294,682,500	△ 2,495,000
④雑収益			
雑収益	2,254,516	1,383,228	871,288
経常収益計	295,975,807	297,536,362	△ 1,560,555
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	97,930,419	89,267,314	8,663,105
総会役員会費	5,875,341	5,547,968	327,373
会員懇談会費	4,716,293	6,341,186	△ 1,624,893
委員会費	41,699,176	25,556,789	16,142,387
調査費	3,980,795	9,591,578	△ 5,610,783
刊行費	8,926,698	9,814,828	△ 888,130
旅費交通費	8,881,390	8,519,230	362,160
通信費	2,076,650	2,009,755	66,895
図書資料費	505,004	497,002	8,002
加盟団体費	2,454,900	2,460,400	△ 5,500
特別事業費	7,800,000	532,262	7,267,738
研修費	127,248	400,000	△ 272,752
交際費	316,020	430,927	△ 114,907
印刷費	2,207,042	3,114,474	△ 907,432
消耗品費	149,229	338,939	△ 189,710
諸税	169,959	161,607	8,352
雑費	158,402	58,470	99,932
②管理費			
役員報酬	19,585,910	22,015,000	△ 2,429,090
退職給付費	1,018,000	0	1,018,000
福利厚生費	21,963,983	21,625,925	338,058
家賃	36,068,649	35,870,515	198,134
備品費	9,678,847	7,794,361	1,884,486
修繕費	7,135,016	747,278	6,387,738
減価償却費	905,289	905,289	0
経常費用計	284,330,260	253,601,097	30,729,163
当期経常増減額	11,645,547	43,935,265	△ 32,289,718

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩	1,000,000	0	1,000,000
経常外収益計	1,000,000	0	1,000,000
(2) 経常外費用			
退職給付引当金繰入	9,760,000	8,100,000	1,660,000
経常外費用計	9,760,000	8,100,000	1,660,000
当期経常外増減額	△ 8,760,000	△ 8,100,000	△ 660,000
当期一般正味財産増減額	2,885,547	35,835,265	△ 32,949,718
一般正味財産期首残高	315,344,046	279,508,781	35,835,265
一般正味財産期末残高	318,229,593	315,344,046	2,885,547
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	318,229,593	315,344,046	2,885,547

3. 財 産 目 録

2023年3月31日現在

(単位：円)

	金	額	
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金			
現金手許有高	760,415		
当座預金			
福岡銀行本店営業部他	74,831,272		
普通預金			
宮崎銀行福岡支店他	15,355,726		
立替金			
R4年度地域DX促進活動支援事業他	17,669,855		
未収金			
九州DX推進コンソーシアムHP制作費負担金他	891,753		
流動資産合計		109,509,021	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) 特定資産			
退職給付引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	160,727,000		
運営準備引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	162,500,000		
周年事業引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金	23,000,000		
減価償却引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	11,415,588		
特定資産合計	357,642,588		
(3) その他固定資産			
備品什器			
応接室内内装工事、LAN設備他	3,438,182		
入居保証金			
電気ビル共創館入居保証金	10,306,728		
その他固定資産合計	13,744,910		
固定資産合計		371,387,498	
資産合計			480,896,519
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
委員会開催費用他	1,436,195		
預り金			
3月分給与における源泉住民税他	503,731		
流動負債合計		1,939,926	
2. 固定負債			
退職給付引当金	160,727,000		
固定負債合計		160,727,000	
負債合計			162,666,926
正味財産合計			318,229,593

4. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産(備品什器)は、定額法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準
引当金の計上基準については、それぞれ以下の金額を計上している。
・退職給付引当金……役員並びに職員の期末自己都合要支給額の100%
- (4) リース取引の処理方法
・ファイナンス・リース取引
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税は税込み処理を選択している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金積立金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	151,967,000	9,760,000	1,000,000	160,727,000
運営準備引当預金	162,500,000	0	0	162,500,000
周年事業引当預金	23,000,000	0	0	23,000,000
減価償却引当預金	10,510,299	905,289	0	11,415,588
小 計	347,977,299	10,665,289	1,000,000	357,642,588
合 計	347,977,299	10,665,289	1,000,000	357,642,588

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産				
退職給付引当預金	160,727,000	0	0	160,727,000
運営準備引当預金	162,500,000	0	162,500,000	0
周年事業引当預金	23,000,000	0	23,000,000	0
減価償却引当預金	11,415,588	0	11,415,588	0
小 計	357,642,588	0	196,915,588	160,727,000
合 計	357,642,588	0	196,915,588	160,727,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備品什器			
備品什器	14,853,770	11,415,588	3,438,182
合 計	14,853,770	11,415,588	3,438,182

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
モルガン・S 株価指数連動債	50,000,000	47,275,000	△ 2,725,000
福岡県R3年度第3回公募公債	30,000,000	29,031,000	△ 969,000
福岡県R4年度第1回公募公債	30,000,000	29,249,400	△ 750,600
福岡市2022年度第8回公募公債	10,000,000	10,055,260	55,260
合 計	120,000,000	115,610,660	△ 4,389,340

5. 収 支 計 算 書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入				
特定資産利息収入	290,000	333,791	△ 43,791	
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,200,000	300,000	入会目標30社達成 (再入会6社は免除)
会費収入				
会費収入	296,100,000	292,187,500	3,912,500	コロナ休会
雑収入				
受取利息収入	10,000	141	9,859	
その他収入	1,350,000	2,254,375	△ 904,375	広告掲載料、アドバイザー料
事業活動収入計(A)	299,250,000	295,975,807	3,274,193	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	96,400,000	97,930,419	△ 1,530,419	派遣職員採用
総会役員会費支出	6,300,000	5,875,341	424,659	
会員懇談会費支出	4,300,000	4,716,293	△ 416,293	新入会員交流会(過去3年分合同)
委員会費支出	47,400,000	41,699,176	5,700,824	オンライン会議への変更他
調査費支出	4,000,000	3,980,795	19,205	
刊行費支出	10,000,000	8,926,698	1,073,302	会員名簿をHPに変更
旅費交通費支出	8,900,000	8,881,390	18,610	
通信費支出	2,200,000	2,076,650	123,350	
図書資料費支出	500,000	505,004	△ 5,004	
加盟団体費支出	2,500,000	2,454,900	45,100	
特別事業費支出	8,000,000	7,800,000	200,000	
研修費支出	600,000	127,248	472,752	
交際費支出	600,000	316,020	283,980	
印刷費支出	3,000,000	2,207,042	792,958	ペーパーレス推進
消耗品費支出	800,000	149,229	650,771	
諸税支出	300,000	169,959	130,041	
雑支出	200,000	158,402	41,598	
事業費支出計(B)	196,000,000	187,974,566	8,025,434	
管理費支出				
役員報酬支出	22,100,000	19,585,910	2,514,090	役員途中交代
退職給与費支出	0	1,018,000	△ 1,018,000	1名
福利厚生費支出	22,000,000	21,963,983	36,017	
家賃支出	35,900,000	36,068,649	△ 168,649	
備品費支出	9,100,000	9,678,847	△ 578,847	新規ライセンス料
修繕費支出	1,600,000	7,135,016	△ 5,535,016	HP全面改修
管理費支出計(C)	90,700,000	95,450,405	△ 4,750,405	
事業活動支出計(D)=(B)+(C)	286,700,000	283,424,971	3,275,029	
事業活動収支差額(E)=(A)-(D)	12,550,000	12,550,836	△ 836	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付費引当預金取崩収入	0	1,000,000	△ 1,000,000	1名分充当
周年事業引当預金取崩収入	4,000,000	0	4,000,000	パーティ実施せず
投資活動収入計(F)	4,000,000	1,000,000	3,000,000	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当預金取得支出	9,800,000	9,760,000	40,000	
減価償却引当預金取得支出	900,000	905,289	△ 5,289	
投資活動支出計(G)	10,700,000	10,665,289	34,711	
投資活動収支差額(H)=(F)-(G)	△ 6,700,000	△ 9,665,289	2,965,289	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計(I)	0	0	0	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計(J)	0	0	0	
財務活動収支差額(K)=(I)-(J)	0	0	0	
IV. 予備費支出				
予備費支出(L)	0	0	0	
当期収支差額(M)=(E)+(H)+(K)-(L)	5,850,000	2,885,547	2,964,453	
前期繰越収支差額(N)	104,683,548	104,683,548	0	
次期繰越収支差額(O)=(M)+(N)	110,533,548	107,569,095	2,964,453	

- (注) 1. 収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申し合わせ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 借入金限度額(該当なし)
3. 債務負担額(該当なし)

収支計算書に対する注記

1. 重要な会計方針

資金の範囲について・・・現金預金、立替金、未収金、未払金、前受金、預り金を含める。

2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	96,833,049	90,947,413
立替金	9,018,966	17,669,855
未収金	603,973	891,753
合 計	106,455,988	109,509,021
未払金	698,000	1,436,195
前受金	300,000	0
預り金	774,440	503,731
合 計	1,772,440	1,939,926
次期繰越収支差額	104,683,548	107,569,095

監 査 報 告 書

私どもは、一般社団法人九州経済連合会の2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度における財産の状況および理事の業務執行の状況を監査しましたので、これについて次のとおり報告いたします。

財産の状況については、2022年度の財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）、ならびに収支計算書等を慎重に検討し、また、理事の業務執行の状況について、理事会等に出席し、必要に応じ報告および説明を徴することにより、監査を行いました。

その結果、

- (1) 財産の状況に関し、2022年度の財務諸表は、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めます。
- (2) 理事の業務執行に関し、不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

2023年 4月 27 日

一般社団法人 九州経済連合会

監 事

酒見 俊夫 

監 事

根本 浩二 

第2号議案

理事、監事選任(案)

(○印は新任)

■理事選任(案)

一般社団法人九州経済連合会
(氏名五十音順)

麻 生 泰 (あそう ゆたか)	麻生セメント(株)	会 長
池 内 比呂子 (いけうち ひろこ)	㈱テノ・ホールディングス	社 長
石 坂 淳 子 (いしがあつこ)	㈱ ひ よ 子	社 長
石 橋 達 朗 (いしばし たつろう)	国立大学法人九州大学	総 長
瓜 生 道 明 (うりう みちあき)	九 州 電 力 (株)	会 長
大 浦 敬 子 (おおうら けいこ)	㈱おとなの学校	代表取締役
大 嶺 満 (おおみね みつる)	沖 縄 電 力 (株)	会 長
小笠原 浩 (おがさわら ひろし)	㈱ 安 川 電 機	会 長
甲 斐 隆 博 (かい たかひろ)	㈱ 肥 後 銀 行	会 長
上 村 基 宏 (かみむら もとひろ)	㈱ 鹿 児 島 銀 行	会 長
唐 池 恒 二 (からいけ こうじ)	九州旅客鉄道(株)	取締役相談役
喜 多 村 円 (きたむら まどか)	T O T O (株)	会 長
倉 富 純 男 (くらとみ すみお)	西 日 本 鉄 道 (株)	会 長
神 田 一 成 (こうだ いちなり)	㈱ 山 口 銀 行	会 長
後 藤 富 一 郎 (ごとう とみいちろう)	㈱ 大 分 銀 行	頭 取
坂 井 秀 明 (さかい ひであき)	㈱ 佐 賀 銀 行	頭 取

○佐藤 清一郎 (さとう せいいちろう)	(株) 筑 邦 銀 行	頭 取
柴 戸 隆 成 (しばと たかしげ)	(株) 福 岡 銀 行	会 長
○杉 田 浩 二 (すぎた こうじ)	(株) 宮 崎 銀 行	頭 取
○田 中 徹 (たなか とおる)	九 州 電 力 (株)	執 行 役 員 佐 賀 支 店 長
○中 田 昌 宏 (なかつ まさひろ)	日 本 製 鉄 (株)	常 務 執 行 役 員 九 州 製 鉄 所 長
永 田 理 (ながた おさむ)	トヨタ自動車九州(株)	社 長
○藤 井 一 郎 (ふい いちろう)	九 州 電 力 (株)	副 社 長 執 行 役 員
堀 江 広 重 (ほりえ ひろしげ)	(一社)九州経済連合会	(6月28日 (株)九電工 会長就任予定) 理 事
○右 田 聖 秀 (みぎた まさひで)	日 本 電 信 電 話 (株)	技 術 企 画 部 門 ビジネス プ ロ セ ス 戦 略 担 当 部 長
村 上 英 之 (むらかみ ひでゆき)	(6月15日 西日本電信電話(株) 執行役員九州支店長就任予定) (株)西日本シティ銀行	頭 取
米 良 充 典 (めら みつり)	米 良 電 機 産 業 (株)	会 長
森 拓 二 郎 (もり たくじろう)	(株) 十 八 親 和 銀 行	会 長
○依 田 直 久 (よだ なおひさ)	(株) ブ リ ゼ ス ト ン	九 州 ・ 山 口 地 区 統 括 部 門 長

(以上 29 名)

■ 監事選任(案)

一般社団法人九州経済連合会
(氏名五十音順)

酒見俊夫(さけみ としお)	西部ガスホールディングス株	会 長
根本浩二(ねもと こうじ)	(株) N T T ドコモ	執行役員 九州支社長

(以上2名)

報告事項 1

2022 年度

事業報告

第 62 号

一般社団法人 九州経済連合会

目次

はじめに	2
I 主な取り組み	3
【戦略1】地域共創 with コロナ	
① コロナ対応	
【戦略2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ	
② リーディング産業	
③ イノベーション・DX	
④ カーボンニュートラル	
⑤ 人を惹きつける	
⑥ 共助社会	
【戦略3】みらいへの投資（基盤整備）	
⑦ データ駆動型社会	
⑧ インフラネットワーク	
⑨ 海外展開プラットフォーム	
<2022 年度主な事業の KPI>	
II 総会・役員会、他団体との取り組みなど	10
総会・理事会・役員会など	
会員懇談会など	
九州地域戦略会議	
経済団体等との懇談	
III 委員会活動	13
資源エネルギー・環境委員会	
産業振興・デジタル推進委員会	
観光委員会	
農林水産委員会	
交通委員会	
国際委員会	
行財政委員会	
ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会	
関門連携委員会	
地域委員会	
IV 関連団体活動	21
西日本経済協議会	
九州航空宇宙開発推進協議会	
九州 DX 推進コンソーシアム	
知的財産権研究会	
九州 IR 推進協議会	
九州国際医療機構	
九州の食輸出協議会	
東九州軸推進機構	
下関北九州道路建設促進協議会	
九州経済国際化推進機構	
福岡地域戦略推進協議会	
九州大学学術研究都市推進協議会	
ILC アジア-九州推進会議	
九州エネルギー問題懇話会	
九州・沖縄地方産業競争力協議会	
九州・沖縄文化力推進会議	
九州 D X 推進コンソーシアム	
V 事務局の取り組み	26
VI 本会要望・意見等	27

はじめに

2022 年度は、観光や飲食、移動を伴うビジネスをはじめ様々な分野において、コロナ禍からの回復が進んだ一方、原材料・エネルギー価格の高騰や物価上昇、人手不足の深刻化が、国民生活や地域経済に大きな影響を及ぼした 1 年であった。

本会では、2021 年 4 月の創立 60 周年を機に公表した、『九州将来ビジョン 2030』（共生・共感・共創アイランド九州 ～成長と心の豊かさとともに）に基づき、2022 年度は中期計画（2021～23 年度）の 2 年目として、【3 つの戦略】を活動方針の柱として事業活動に取り組んだ。

【戦略 1】地域共創 with コロナ

社会経済活動の活性化を図るため、感染状況に応じた「業務中のマスク着用緩和（基本的考え方）」の公表を行った（6 月）。また、接種証明の活用や PCR 検査の実施により、参加者 200 名の陰性確認を行った上で、3 年ぶりに九州地域戦略会議「夏季セミナー」を開催した（8 月）。そのほか、委員会を中心にコミュニケーション機会を増やししながら、本会会員とともに経済活動活性化への機運醸成を図った。

【戦略 2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

わが国全体で、DX・GX 推進やデジタル田園都市国家構想等、コロナ後の未来を切り拓く取り組みが進められていることを踏まえ、本会活動においても、イノベーションの活性化や地域創生に重点を置いた取り組みを加速させる必要がある。

具体的には、“イノベーション・DX”事業として、大学シーズへのギャップ資金拠出（5,200 万円）や、地域企業のデジタル化・IT 活用支援の仕組みづくり（経産省補助事業）を実施した。“カーボンニュートラル”事業として、地域金融機関との連携による九州・沖縄・山口 ESG 投融資方針の策定（9 月）を行った。“人を惹きつける”事業として、交流人口拡大へのツール・ド・九州の 2023 年第 1 回大会の開催準備を進め、“共助社会”事業として、幸せコミュニティ指標を公表（6 月）するなど、多彩な取組を実施することができた。

【戦略 3】みらいへの投資（基盤整備）

基盤整備については、九州地域戦略会議（10 月）において官民共同で行った「誰もが輝く九州未来創造宣言」を号令に、“データ駆動型社会”事業として、広域データ連携プラットフォーム検討会準備会を発足（3 月）させ、“インフラネットワーク”事業として、九州 MaaS グランドデザインをとりまとめる（3 月）など、着実に前進することができた。また、“海外展開プラットフォーム”事業として、九州プロモーションセンター in ハノイがグラントオープンを迎え、本格的なスタートを切った（3 月）。

原材料・エネルギー価格の高騰や物価上昇、人手不足の深刻化など、経済環境が厳しい状況が続いているが、一方で、観光需要の回復など明るい兆しも見えてきており、九州から改革・イノベーションをいかに起こすか、会員の皆様と知恵を絞りながら、引き続き「九州から日本を動かす」モデルとなる先導的な取り組みを進めていきたい。

I

主な取り組み

【戦略1】地域共創 with コロナ

① コロナ対応

社会経済活動の活性化

- ・感染状況に応じた社会経済活動の活性化へ
 - 業務中のマスク着用緩和（基本的考え方）公表（2022.6月）
- ・接種証明等を活用し、経済活動活性化へ
 - PCR検査等で参加者200名の陰性確認のうえ、3年ぶりの九州地域戦略会議「夏季セミナー」開催（2022.8月）

【戦略2】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

② リーディング産業

戦略産業の育成・誘致

○第3次企画委員会設置・策定(2022年4月:九航協設立30周年)
 ・第1次(2002年度~)、第2次(2009年度~)アクションプランをもとに、九航協実施項目の確認・評価・課題の明確化
 ・環境認識の共有・反映
 ・電動化・脱炭素化の動き⇒大量輸送から分散型・少量・多様な輸送への転換、飛行媒体・サプライチェーンを含め大きな市場構造変革の可能性
 ・宇宙産業の台頭・成長・裾野拡大(打上げロケット、人工衛星、衛星データ活用、産学官連携強化、環境・基盤整備等)
 ・九航協第1次・第2次アクションプラン総括、第3次アクションプラン(2022年度~)の立案・策定(2021年8月~2022年7月)

- | | |
|------|-------------------------------|
| 航空分野 | 1. QANの活動体制の見直し |
| | 2. 航空グリーン/イノベーション関連事業創生可能性調査 |
| | 3. 航空人材の育成と航空への啓蒙活動 |
| 宇宙分野 | 4. 宇宙開発ビジネス交流会(九州射場研究会を含む) |
| | 5. 九州域内航空宇宙データベースに関する検討会 |
| | 6. 衛星データ利用に関する事例集作成とビジネスモデル検討 |

- ・シリコンアイランド九州の復活（半導体）
 - 「九州半導体人材育成等コンソーシアム」組成・支援、国内投資拡大のための官民連携フォーラムにおいて倉富会長から岸田総理へ九州における投資状況・取り組みを報告
- ・九航協第3次アクションプランの策定・展開（産学官13名の委員）（九州航空宇宙開発推進協議会）
 - 航空・宇宙計6アクションプランの始動・展開（九航協航空産業連絡会議、宇宙開発ビジネス交流会を中心に）
- ・九州7県、九経局、九経調等との連携・協業による戦略産業の育成・誘致・振興策の具体化（産業政策）
 - 県別産業政策およびオール九州としての取り組みに関する情報・意見交換、戦略産業等個別プロジェクトの推進・展開および関係自治体・機関との連携・調整

【トピックス①】国内投資拡大のための官民連携フォーラム

- ・2022年12月、首相官邸において、日本経済再生に向け、政府の総合経済対策を呼び水に、民間投資を最大限引き出すべく、機運醸成のために標記フォーラムが開催された。
- ・会合には、岸田文雄首相、西村康稔経済産業相ら関係閣僚のほか、経団連や各地の経済団体トップが参加。
- ・本会からは倉富純男会長が出席し、「シリコンアイランド九州の復活への動きやオール九州での戦略的展開の強化、農業の成長産業化への新たなチャレンジ」について意見を述べた。



③ イノベーション・DX

イノベーション・エコシステム構築



<スタートアップの成長支援>

- ・**大学・企業・VC・経済団体が連携し、大学発ベンチャーを育成振興するとともにギャップ資金を提供（大学発スタートアップ）**
 - ギャップ資金5,200万円を提供。九州・大学発ベンチャー振興会議の会員拡充（会員数25社⇒32社）
- ・**オール九州プラットフォームのもとでの切れ目のない一体化推進のために有用な情報収集および見える化（広域連携強化策）**
 - 九州全域のベンチャー支援体制に関するプロフィール（詳細データ）、成長段階別イベント・プログラム・施設等一覧表、イベントカレンダーを作成、各県・拠点都市・支援組織等との意見交換・調整。課題整理と2023年度取り組み案の策定

<地域企業へのDX支援>

- ・**経営層を対象とした「九州デジタル経営塾」の開催**
 - 九州各地で1泊2日のワークショップ・合宿形式で実施（2022年度：長崎、佐賀、熊本、福岡・北九州）
延べ98社108名が参加
- ・**九州DX推進コンソーシアム**
 - 「人材育成」と「産業創造」の2軸で、8つのワーキンググループを立ち上げて取り組みを推進
 - 第1回総会開催（6/28）、ホームページ開設（2/3）、九州DX推進シンポジウム開催（2/7）にて、活動内容等を対外的に発信
- ・**九州ビッグデータ活用研究会の開催**
 - 九州地域戦略会議の取り組み事項として、「九州AIビッグデータコンソーシアム」創設を目指し、官民合同チームにおいて「九州ビッグデータ活用研究会」を開催（2回）。デジタル庁の講演や、各自治体における保有データの調査、携帯電話等位置情報データ活用方策に関する調査及び自治体における活用方策について検討（2022.7月、2023.2月）
- ・**ICT人材育成**
 - 6大学21名の学生と10社（15テーマ）をマッチングし、インターンシップを開催。企業における実業務に関連するテーマを通じて、課題解決力や実践的なスキル向上に寄与（2022.7～12月）
 - サプライチェーンに対するサイバーセキュリティ意識の向上並びにセキュリティ対策の普及・啓発として、セミナーを2回開催、約400名が参加（2022.8月、2023.2月）
 - DX推進に向けたデータ利活用研修を開催し、24社24名が参加（2023.3月）

④ カーボンニュートラル

需要側を含めた環境先進モデル構築

- ・環境省との連携協定締結、地域脱炭素マッチングイベント開催
 - 政府が全国100カ所選定する「脱炭素先行地域」を目指し、九州・沖縄約30自治体と九経連会員約100社とのマッチングイベントを開催（2022.11月/2022.12月）
- ・「九州・沖縄・山口 ESG 投融資方針」の策定
 - 地域のサステナビリティを高める3つの投資戦略と18の投融資方針を公表（2022.9月）

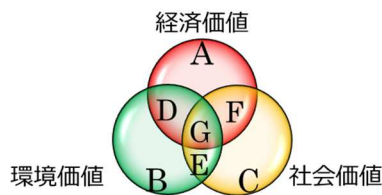
【トピックス②】九州・沖縄・山口 ESG 投融資方針

- ・九州の豊かな自然資本やクリーンエネルギーなど環境貢献度や社会貢献度の高い成長分野に、地域金融機関の投融資をはじめ、民間設備投資や公共投資を誘導する戦略。
- ・投融資の力で、**経済価値、環境価値、社会価値の3価値を統合的に高める**ことで、経済成長と同時に、環境保全、地域社会のレジリエンス強化など、サステナブルな地域づくりを推進。

九州・沖縄・山口ESG投融資方針の概要

3つの投資戦略：

- ① 領域DFGへの重点投資
- ② 領域A⇒領域DFGへの投資誘導
- ③ 領域BCE⇒領域DFGへの移行支援



18の投融資方針：

- ① クリーンエネルギー投資
- ② カーボン・クレジットの創出・流通
- ③ 生物多様性保全
- ④ 防災減災
- ⑤ 人への投資
- ⑥ 社会課題解決と成長の同時追求
- ⑦ 持続可能な農林水産業、観光業
- ⑧ 製造業サプライチェーンの強化・脱炭素化
- ⑨ CO2多排出産業のトランジション支援、革新的イノベーション支援
- ⑩ 域内の所得循環や雇用拡大
- ⑪ 創業、事業承継、M&A、事業再生、企業誘致
- ⑫ 森林、海洋、水資源や温泉など地域の自然環境保全
- ⑬ 地域文化、地域コミュニティづくり
- ⑭ 世界自然遺産、世界文化遺産、国立公園の保護と活用
- ⑮ 九州・沖縄・山口の産学官金連携等によるインパクト極大化
- ⑯ 社会資本整備 (PPP/PFI、デジタル投資)
- ⑰ 持続可能なまちづくり
- ⑱ 医療介護福祉、教育

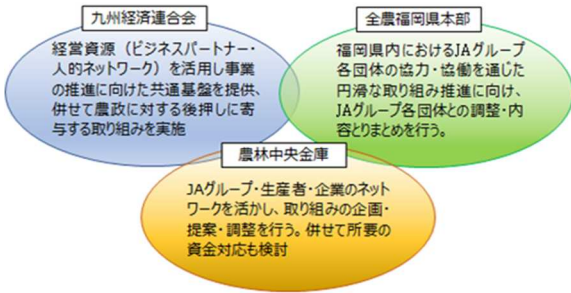
⑤ 人を惹きつける

新たな観光資源創出

農林水産業活性化共創モデル



- ・九州・長崎 IR（統合型リゾート）の誘致実現へ
 - 国へ「区域整備計画」を申請（2022.4月）
- ・ツール・ド・九州 2023 開催に向けた取り組み強化
 - 専任事務局として法人設立・UCIよりクラス1認定・冠スポンサーに株式会社マイナビ決定
- ・九州の食輸出協議会を活用した販路拡大に向けた伴走支援
 - 定番商品化に向け、イオンマレーシア・カンボジア現地4店舗で九州フェアを継続開催（2022.6月、11月）
 - 第5回中国国際輸入博覧会出展を契機にしたネットワークづくり（2022.11月～）
 - 台湾・香港の大手小売店と九州フェア開催に向け事前協議（2022年10月～）



観光を軸にした地域プロデュース



・「地域農業を地域企業で支える仕組み」基点の取り組み

- 農林中金・JA全農ふくれん（連携協定先）と協働し、生産者と企業援農者を結びプラットフォームを選定・試行。社員研修への農業カリキュラム導入につき会員企業と協議（2023.2月、会員企業1社で援農を試行）
- 生産者の販路拡大支援のため、高鮮度の果物を空輸（貨客混載）、東京の小売店で販売する仕組みを実証（2023.2月）

・域外企業の九州農業への参入促進に向けた取り組み

- 経団連と「農業活性化に向けた企業タイアップセミナー」を共催。参加企業と各県との連携を深めるため、九州産品の展示も織り込んだ交流会を実施（2022.10月、参加者79名）

・木造・木質化ビルの普及促進（国産材の国内利活用）

- 九経連のリソースを活用した域内の木材サプライチェーン最適化に向けた運営方針を策定。先行事例から学ぶ木造ビル建築技術力の向上、九州各県の協力による域内製材所アセットの棚卸に着手（WG：2022.9月、12月、2023.2月）

・地域活性化及び市民サービス向上に向けた包括連携協定締結（指宿市）

- 九経連のリソースを活用した指宿市の街づくりに資する取り組みについて協議を実施

・地域活性化に向けた関係人口創出（うきは市）

- 人手不足の農家と地域外の企業や大学をマッチングし、地域課題の改善に向けた「SDGs農活」を実施

【トピックス③】 農的関係人口増加に向けた取り組み（全体イメージ、うきは市の事例）



⑥ 共助社会

「幸せコミュニティ」づくり



・幸せコミュニティ指標の策定

九経連創立 60 周年記念式典(6/7 開催)にて指標を公表

・九州企業ジェンダーギャップ指数 (EGGI) の策定

EGGI策定とその後の取り組みを地域委員会にて報告し、九州各地域の従業員規模101人以上会員企業及び団体に協力依頼

⇒ 導入 (回答協力) 企業数 : 261/667 社・団体〔38.7%〕
対目標 : 261/300 社・団体〔87%〕

【トピックス④】 幸せコミュニティ指標

- ・九経連創立 60 周年記念式典(6/7 開催)にて指標を公表し、各地域委員会にて本件の活動報告を実施 (2022.8 月～)。
- ・九州地域戦略会議夏季セミナーの第 4 分科会にて、同セミナーのテーマ「心の豊かさを成長につなげる『幸せコミュニティ』の実現に向けて」のもと、「女性活躍」「デジタル化」「地域成長」各々の視点から、産学官トップ・リーダー層での議論を実施。九州スマートリージョン構想(仮称) の取り組み推進を提案。 ※本件、秋の同会議に上程・合意の上、宣言文を発表。

⇒ 本格的にデジタルを活用した広域連携の取り組みを検討・実行段階へ。



【戦略3】 未来への投資 (基盤整備)

⑦ データ駆動型社会

スマートリージョン構想の具現化

・九州が一体となりデジタルを活用した広域連携を実現するための理念・原則を「夏季セミナー第 4 分科会」にて討論

- 九州・沖縄・山口各県及び経済団体が九州スマートリージョン構想の実現に向け共通認識を得る。(2022.8月)

・九州広域データ連携プラットフォーム (広域データ連携基盤)

- 第42回九州地域戦略会議の宣言文にて、『九州広域でのデータ連携基盤の構築』が採択され、当会を事務局、福岡県、長崎県を検討リーダーとし、春の戦略会議で検討会設立の承認を得るために各県デジタル部署と課題整理等に取り組む。
- なお、3/23に全県による第1回準備会を実施。

【トピックス⑤】 スマートリージョン構想 (実現に向けた取り組み)



① データ連携基盤の構築

九州地域戦略会議 九州創生アクションプラン「JEWELS+」

しごとづくりPT
(九経連会長、福岡県知事、九商連会長)

地域活カづくりPT
(長崎県知事、宮崎県知事、九経連副会長)

九州広域データ連携プラットフォーム検討会 (新設)

デジタルによる官民広域連携 (広域データ連携) により全国でも先導的なモデル構築を目指す。

九州DX推進
コンソーシアム

提言

連携

各県DX推進団体

② ユースケースの検討

広域連携が効果的な防災・医療分野でのユースケースを検討。

⑧ インフラネットワーク

九州 MaaS 構築



九州 MaaS シンポジウム 2022



研究会の様子



九州 MaaS グランドデザイン (案) (表紙)

⑨ 海外展開プラットフォーム

アジアとの繋がり強化



KPC



KPC グランドオープンセレモニー



相談会 (タイ)

・グランドデザイン作成に向けた取り組み強化

- 第41回九州地域戦略会議において九州MaaS構築に向けた研究会設置が承認される。
- 九州版MaaS構築に向けた官民による研究会の立上げ (第1回九州 MaaS プロジェクト研究会開催 2022.8月)
- 「九州MaaSシンポジウム2022」開催による機運醸成 (第2回九州 MaaS プロジェクト研究会開催 2022.9月)
- 「九州MaaSに求められる機能を考えるワークショップ」 (第3回九州 MaaS プロジェクト研究会開催 2022.10月)
- 「九州MaaSの運営方法等を検討する」 (第4回九州 MaaS プロジェクト研究会開催 2022.12月)
- 「九州MaaSグランドデザイン (案) 」とりまとめに向けた協議 (第5回九州 MaaS プロジェクト研究会開催 2023.2月)
- 「九州MaaSグランドデザイン (案) 」とりまとめ (第6回九州 MaaS プロジェクト研究会開催 2023.3月)

・九州・ベトナム経済交流ミッション派遣及び九州プロモーションセンターin ハノイ (KPC) グランドオープンセレモニー開催

- KPCグランドオープニングセレモニー開催の為のベトナム訪問機会を捉え、ベトナム国政府機関 (外務省、計画投資省等) の表敬訪問、KPCでの食の商談会を実施 (2023.3月)

・九州・タイヘルスケアミッション派遣

- タイ投資委員会(BOI)とのMOUを活かし、在福岡タイ王国総領事館や関係機関、産業クラスター等と連携しつつ、企業ニーズを踏まえたヘルスケアミッションを派遣 (2023.2月)

2022年度 主な事業の KPI

	活動	KPI	2022年度目標	2022年度実績
高い付加価値を生み出す 【産業】 の創出	イノベーション・DX	有望な大学シーズへの ギャップ資金提供	7,200万円	5,200万円
		地域企業のデジタル化・IT活用支援の 仕組みづくり	モデル事業実施	経産省補助事業「地域DX 促進活動支援事業」実施
		産学官連携による課題解決型 先進モデルの共有・展開	3件	4件
	カーボンニュートラル	地域版 ESG 投融資方針の策定	方針策定	方針策定
魅力・活力溢れる 【地域】 の創造	観光を軸にした 地域プロデュース	複数自治体との連携による 「街づくり事業」の遂行	3地域との 協定締結	2地域と協定締結 (うち1地域で取り組み開始)
	農林水産業 魅力づくり	輸出事例拡大に向けた、地元食品等 産業の伴走支援	海外販路拡大支援 20件	海外販路拡大支援 14件
		「地域農業を地域企業で支える仕組み」 を基点にした取り組みの推進	具体事例の創出 (担い手支援)	援農ボランティア(試行) 1社
			支援基盤の整備 (販路拡大支援)	貨客混載による空輸(実証) 1件
		域外企業の九州農業への参入促進	マッチング事例の 創出	2件(福岡、大分)
	木造・木質化ビル(九経連標準構造モ デル)の浸透と企業トップセールス	採用事例の創出	1案件(協議中)	
	幸せコミュニティ	幸せコミュニティ指標の開発と、 ロードマップ作成	指標の見極め	指標を公表
		地域企業への「九州企業ジェンダー ギャップ指数」導入	導入(回答協力) 企業数:300社	導入(回答協力)企業数: 261/300社・団体 [87%]
みらいへの投資	データ駆動型社会	九州スマートリージョン構想実現への 理念・方針策定	ポリシー 策定・合意	九州地域戦略会議にて合意
		広域データ連携基盤の仕組みづくり	パイロットPJ の企画・立案	・検討会設立準備会開催 ・九州DX推進コンソー シアムにてPJ設置
	インフラネットワーク	九州 MaaS プラットフォームの システム・概念の確立	グランドデザイン 策定	グランドデザイン 策定

II 総会・役員会、他団体との取り組みなど

総会・理事会・役員会など

開催日	会合名	内容
総会		
2022/06/07	第 62 回定時総会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：2021 年度収支決算(案) 第 2 号議案：理事、監事選任(案) 報告事項 1：2021 年度事業報告 報告事項 2：2022 年度事業計画及び収支予算
理事会		
2022/05/09	第 169 回理事会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：審議員、諮問委員、顧問 選任(案) 第 2 号議案：専務理事、常務理事、事務局長 候補 選任(案) 第 3 号議案：2021 年度事業報告(案) 第 4 号議案：2021 年度収支決算(案) 第 5 号議案：第 62 回定時総会の招集 及び 会議の目的事項(案) 報告事項①：「幸せコミュニティ指標」について 報告事項②：今後の主要スケジュールについて
2022/06/07	第 170 回理事会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：専務理事、常務理事 選任(案) 第 2 号議案：事務局長 選任(案) 第 3 号議案：顧問 選任(案)
2022/09/20	第 171 回理事会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：審議員、諮問委員、顧問 選任(案)
2023/03/22	第 172 回理事会 (福岡市)	<議事> 第 1 号議案：諮問委員、顧問 選任(案) 第 2 号議案：事務局長 選任(案) 第 3 号議案：2023 年度事業計画(案) 並びに 委員会再編(案) 第 4 号議案：2023 年度収支予算(案) 報告事項①：事務局の組織変更について 報告事項②：今後の主要スケジュール
正副会長・委員長会議		
2023/01/27	正副会長・委員長会議 (福岡市)	<議事> 2023 年度事業計画【主要事業】(案)
顧問会		
2022/11/29	顧問会 (東京)	<議事> 「九州将来ビジョン 2030」の実現に向けて
理事・審議員合同会議		
2022/09/20	理事・審議員合同会議 (福岡市)	<議事> ・2022 年度 上期実績と課題について ～「九州将来ビジョン 2030」の実現に向けて～ ・九州・沖縄・山口 ESG 投資方針の策定に ついて

会員懇談会など

開催日	会合名	内容
九経連創立 60 周年記念式典		
2022/06/07	創立 60 周年記念式典 (福岡市)	<内容> ・開会挨拶 ・来賓祝辞 ・祝電披露 ・『九州将来ビジョン 2030』に基づく 『幸せコミュニティ指標』公表 ・記念講演 演題：『幸せコミュニティ』の実現に何が必要か ～試練や困難にも負けないウェルビーイングの本質～ 講師：(株)日立製作所 フェロー (株)ハピネスプラネット 代表取締役 CEO 矢野 和男 氏
九州経済懇談会 (経団連との懇談会)		
2023/03/03	第 73 回九州経済懇談会 (福岡市)	<基本テーマ> 「地域共創の取り組みを日本の活力につなぐ ～九州の強みを活かして～」 <懇談テーマ> ①高い付加価値を生み出す『産業』の創出と 魅力・活力溢れる『地域』の創造 ②県境を越えたデータ連携による九州全体での データ駆動型社会の基盤整備
沖縄連携フォーラム		
2022/08/05	沖縄連携フォーラム (那覇市) ※沖縄県経済団体 会議との共催	<テーマ> 九州将来ビジョンと“幸せコミュニティ” <報告 I> 「九州地域戦略会議夏季セミナーと幸せコミュニティ」 (一社)九州経済連合会 専務理事 平井 彰 <報告 II> 「ジェンダー平等社会実現に向けて」 (一社)九州経済連合会 理事 池内 比呂子 <報告 III> 「九州スマートリージョン構想 (仮称) について」 (一社)九州経済連合会 行財政委員会 企画部会長 石丸 修平 <報告 IV> 「ダイバーシティ拓伸会の取り組み」 沖縄県工業連合会会長 古波津 昇 氏
産学連携懇談会		
2022/04/22	産学連携懇談会 (福岡市)	<報告> ・「九州イノベーションエコシステムの構築」 九州経済連合会 会長 倉富純男氏 <先進事例報告> ・「熊本大学のビジョンと産学連携について」 熊本大学 学長 小川久雄 氏 ・「鹿児島大学の課題解決事例～未利用肉の 高付加価値化～」 鹿児島大学 副学長 岩井 久 氏 ・「佐賀大学が実践している産学官連携の取組」 佐賀大学 学長 兒玉 浩明 氏 ・「APU の産学連携のかたち、サステナビリティ観 光学部開設」 APU 社会連携部長 藤本 武士 氏 ・「九経連のベンチャー支援・人材育成の取組」 (事務局) <全体討議> ・(前回報告 4 大学先進事例のフォローを含む)

新入会員交流会		
2023/01/27	新入会員交流会 (福岡市)	<内容> ・新入会員による自己紹介と九経連正副会長 委員長・参加者との懇談・交流
九州女性の会		
2022/04/27	役員会 (福岡市)	<議事> ・今年度例会の開催計画案について
2022/05/18	5月例会 (福岡市)	<講演> 演題：新しい観光のカタチ 講師：九経連 観光社会基盤部長 升本喜之
2022/06/07	6月例会 (福岡市)	<内容> 九経連第 62 回定時総会・創立 60 周年記念 式典への参加
2022/09/15	9月例会 (福岡市)	<講演> 演題：ジェンダー平等の現在地 講師：毎日新聞西部本社 編集局長 坂口 佳代 氏
2022/10/27	10月例会 (福岡市)	<講演> 演題：観光と運輸で創る九州の元気 講師：国土交通省 九州運輸局長 鈴木 史朗 氏
2022/11/17	11月例会 (福岡市)	<見学会> 見学先：ららぽーと福岡、福岡おもちゃ美術館 講師：三井不動産(株) 商業施設本部 主事 飯村 マリエ 氏 福岡おもちゃ美術館 館長 石井 今日子 氏
2022/12/08	12月例会 (福岡市)	<トークショー> 講師：料理研究家 (株)桜坂 AZUL 代表取締役 武 陽子 氏
2023/01/16	1月例会 (福岡市)	<講演> 演題：広報戦略、CS 推進戦略について 講師：西日本鉄道(株) 執行役員 広報・CS 推進部長 石川 たかね 氏 演題：FFG の『女性活躍推進』の取組み 講師：(株)福岡銀行 クオリティ統括部 副部長 古賀 裕子 氏 演題：焼酎プロデューサーって何!? 講師：(株)HarmoniK 代表取締役社長 焼酎プロデューサー 黒瀬 暢子 氏 <新春賀詞交歓会>
2023/02/16	役員会 (福岡市)	<議事> ・次期会長・副会長の候補案について
2023/02/24	2月例会 (福岡市)	<講演> 演題：育児中の社員を活かす令和時代のマネジ メント ～男性の育休取得を推進するには～ 講師：青山学院大学 社会情報学研究所 プロジェクト教授 (株)山口企画 代表取締役 山口 理栄 氏 (育休後コンサルタント)
2023/03/03	3月例会 (福岡市)	<内容> 第 73 回九州経済懇談会 (経団連と九経連との懇談会) への参加
2023/03/03	歴代会長会 (福岡市)	<議事> ・次期会長・副会長の選任案について

九州地域戦略会議

開催日	会合名	内容
2022/06/01	第 4 1 回九州地域 戦略会議 (宮崎市)	<審議> ・九州創生 (J E W E L S +) の推進について <報告> ・ ツール・ド・九州について ・九州・長崎IRについて ・第19回夏季セミナーについて
2022/10/27	第 4 2 回九州地域 戦略会議 (奄美市)	<審議> ・九州創生 (J E W E L S +) の推進について <報告> ・ 決算・予算、役員選任 <報告> ・ ツール・ド・九州について ・九州 MaaS について ・九州・長崎 IR について ・「第三期九州観光戦略」の策定について ・再生可能エネルギー産業化推進委員会の 活動報告と 2023 年度事業計画 ・九州・沖縄文化力推進会議 R 5 年度事業計画
2022/08/04 ～05	夏季セミナー	<テーマ> 新たな価値をともに創る KYUSHU (九州) を 目指して～ニューノーマル時代の豊かさとは～ <基調講演> 演題：日本が目指すデジタル社会 講師：デジタル大臣 牧島 かれん 氏 <第 1 分科会> テーマ：行政と民間・経済界の連携による移住・ 関係人口の促進 座長：長崎大学 経済学部 准教授 山口 純哉 氏 <第 2 分科会> テーマ：新しいシリコンアイランド九州の創造に向けて 座長：九州半導体・エレクトロニクスイノベーション 協議会 会長 岩上 徹 氏 <第 3 分科会> テーマ：新しい資本主義を考える～九州における成 長と分配の好循環の実現に向けて～ 座長：九州経済同友会 代表委員 代表委員 青柳 俊彦 氏 <第 4 分科会> テーマ：心の豊かさを成長につなぐ“幸せコミュニティ” の実現に向けて 座長：(一社)九州経済連合会 理事 ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会 副委員長 池内 比呂子
2022/04/08	幹事会 (福岡市)	<議事> ・第41回九州地域戦略会議の開催要領 (案) について ・第41回九州地域戦略会議 議題について
2022/08/25	幹事会 (佐賀市)	<議事> ・第42回九州地域戦略会議の開催要領(案)に ついて ・第42回九州地域戦略会議 議題について
2023/02/03	幹事会 (那覇市)	<議事> ・第 2 期九州創生アクションプラン「JEWELS+」 の見直し等について ・第20回夏季セミナーについて ・第43回戦略会議に係る議題等について
再生可能エネルギーへの取り組み		
2022/10/07	再生可能エネルギー 産業化推進委員会 第 1 回委員会 (福岡市)	<議題> ・実務者会議からの報告 ・事務局報告 <講演> ・資源エネルギー庁

2023/03/09	再生可能エネルギー産業化推進委員会 第2回委員会 (福岡市)	<議題> ・実務者会議からの報告 ・事務局報告 <講演> ・資源エネルギー庁
2022/09/07	第1回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	<議題> ・APIに関する各県からの状況報告 ・地熱・温泉熱PJ組成件数 ・再エネ委員会からの報告 ・R4年度事業計画等
2023/02/20 ～21	第2回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (佐賀市、唐津市)	<議題> ・APIに関する各県からの状況報告 ・地熱・温泉熱PJ組成件数 ・再エネ委員会からの報告 ・R4年度事業計画等 <講演> ・九州大学 <視察> ・SAGA サンライズパーク(佐賀市) ・農業用ハウス(唐津市)
2022/08/26	第1回海洋エネルギー産業化実務者会議 (福岡市)	<議題> ・各委員の取り組み状況・翌年度計画報告 ・合同活動・展示会出展・セミナー開催報告 ・再エネ委員会からの報告 ・今後の実務者会議活動 ・KPI指標
2023/02/13	第2回海洋エネルギー産業化実務者会議 (北九州市)	<議題> ・各委員の取り組み状況・翌年度計画報告 ・合同活動・展示会出展・セミナー開催報告 ・再エネ委員会からの報告 ・今後の実務者会議活動 ・KPI指標 <視察> ・北九州市若松区響灘地区
2022/08/31	第1回水素エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	<議題> ・APIに対する取り組み報告 ・再エネ委員会からの報告 <講演> ・テクノバ ・岩谷産業 ・旭化成 ・トヨタ自動車九州
2023/01/18	第2回水素エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	<議題> ・APIに対する取り組み報告 ・再エネ委員会からの報告 <講演> ・資源エネルギー庁 ・日本エア・リキード

経済団体等との懇談

開催日	会合名	内容
九州経済を考える懇談会		
2022/07/06	第1回懇談会 (福岡市)	<議題> ・九州スマートリージョン構想について ・コロナ禍における経済・社会・文化活動の再開について
2023/02/15	第2回懇談会 (福岡市)	<議題> ・九州 MaaS プロジェクト研究会 ・九州観光(第三期九州観光戦略案、九州経済白書「九州地域の観光振興に向けて」)
九州経済団体 総務担当者会議		
2022/04/06	4月例会	<議題> 各団体の活動状況
2022/05/11	5月例会	
2022/06/10	6月例会	
2022/07/08	7月例会	
2022/08/03	8月例会	
2022/09/05	9月例会	
2022/10/04	10月例会	
2022/11/08	11月例会	
2022/12/08	12月例会	
2023/01/11	1月例会	
2023/02/01	2月例会	
2023/03/07	3月例会 (福岡市)	

Ⅲ 委員会活動

資源エネルギー・環境委員会

開催日	会合名	内容
2023/03/16	2022 年度委員会 (福岡市)	<p><内容></p> <p>1. 開会挨拶</p> <p>2. 講演 東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株) 取締役 常務執行役員 ソリューション営業本部長 近藤 芳正 氏 ソリューション営業本部 プロジェクト推進部長 山 岸 哲 氏 「地域脱炭素への挑戦 ～清原工業団地スマエネ 事業を中心に～」</p> <p>3. 先進事例発表 ①松本工業(株) 取締役副社長 館下 繁仁 氏 「カーボンニュートラルに向けた中小企業サプライヤー としての責任～ものづくり現場の脱炭素を推進する 溶接レス結合工法の開発」 ②(株)スカイディスク 代表取締役 CEO 内村 安 里 氏 「AI x SaaS 生産計画自動立案システム『最適ワ ークス』による製造業・製造ラインの CO2 排出量の 精緻な可視化・削減支援に向けた取り組み」</p> <p>4. 議事 ①2022 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業 報告 ②2023 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業 計画 (案)</p>
2023/01/31	2021 年度企画部会 (福岡市)	<p><内容></p> <p>1. 戸上部会長挨拶</p> <p>2. 基調講演 環境省九州地方環境事務所 次長 兼 地域脱 炭素創生室長 上迫 大介 氏 「地域脱炭素に関する環境省の取り組みについて」</p> <p>3. 先進事例発表 「地域脱炭素/サーキュラーエコノミーに向けた新た な挑戦」 ①トータルケア・システム(株) 常務取締役 坂口 弘 典 氏 ②(株)丸信ホールディングス 広報・PR プロデューサー 田中 敏彦 氏</p> <p>4. 議事 ①2022 年度資源エネルギー・環境委員会事業報 告 ②2023 年度 事業計画骨子案</p>
2022/4/26	第 1 回 ESG 推進 WG (福岡市)	<p><内容></p> <p>①ESG 推進 WG2022 年度計画</p> <p>②九州の地域特性・産業特性を踏まえた重要課 題の検討</p> <p>③九州 ESG 投融資方針 (九州タクソミー) の 検討</p>
2022/7/15	第 2 回 ESG 推進 WG (福岡市)	<p><内容></p> <p>①九州ESG投融資方針 (九州タクソミー) の検 討</p> <p>②今後の推進体制の検討</p>
2022/09/08	第 3 回 ESG 推進 WG (那覇市)	<p><内容></p> <p>九州・沖縄・山口ESG投融資方針について</p>

2022/06/27	第 1 回 CN 推進研究 会 (福岡市)	<p><講演></p> <p>①「九州地域のカーボンニュートラル推進に向け て」(九州経済産業局)</p> <p>②「省エネの“現場”から考える CN 推進～企業・ 組織における 8 つの配慮事項～」(省エネルギ ーセンター)</p> <p><内容></p> <p>①各社の取組と課題</p> <p>②今後の進め方・検討の方向性</p>
2022/12/08	第 2 回 CN 推進研究 会 (福岡市)	<p><内容></p> <p>①話題提供 (九州電力、西部ガス、安川電機)</p> <p>②検討テーマの絞り込み</p>
2022/11/16- 17	次世代革新炉に関する 調査団派遣 (茨城県日立市、大洗 町)	次世代革新炉 (HTTR、SMR) および水素製 造 (ISプロセス) に関する最新動向を調査する ため、九州エネルギー問題懇話会専門家チーム (大学教授等)と九経連資源エネルギー・環境 委員会による合同調査団を茨城県に派遣。
2023/11/20	政府のエネルギー関連政 策に関する要望 (福岡市)	公明党石井幹事長 (前国土交通大臣) に対 して「政府のエネルギー関連政策に関する要望」 を説明・手交

産業振興・デジタル推進委員会

開催日	会合名	内容
2023/03/09	産業振興・デジタル推 進委員会 (福岡市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度事業報告 ・ 2023年度事業計画 (案) <p><講演></p> <p>演題：『シリコンアイランド九州の復活に向けて』 「半導体政策動向と九州の取組」 講師：産業省九州産業局 地域経済部 情報 政策課 課長 松本 孝之 氏 「ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 (SCK) の事業紹介」 講師：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株 式会社 社長 山口 宜洋 氏 「T S M C / J A S M のご紹介」 講師：Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 株式会社 社長 堀田 祐一 氏 (司会：金剛株式会社社長、熊本県工業連合会 会長、九経連産業振興・デジタル推進委 員会および産業振興部会委員 田中 稔彦 氏)</p>
2022/08/30	第 1 回デジタル推進部 会 (オンライン)	<p><議題></p> <p>第 1 部 ・ 2022 年度 デジタル推進部会 上期活動報告 & 下期計画</p> <p>第 2 部 ・ 意見交換①：DXの取り組み状況について ・ 意見交換②：ICT人材育成事業について</p>
2022/09/28	第 1 回産業振興部会	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年度 産業振興部会 事業計画・進捗状 況
2023/02/22	第 2 回産業振興部会	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年度 産業振興部会 事業報告 ・ 2023 年度 産業振興部会 事業計画(案)
2022/07/14	産業振興部会 第 1 回先進工場見学会	<ul style="list-style-type: none"> ・ UBE株式会社宇部本社

2022/09/28	産業振興部会 第2回先進工場見学会	・ 日産自動車九州株式会社
2023/02/22	産業振興部会 第3回先進工場見学会	・ 西部電機株式会社
2023/02/28	第2回デジタル推進部会 (集合&オンライン)	<議題> 第1部 ・2022年度 デジタル推進部会 活動報告 ・2023年度 デジタル推進部会 事業計画案説明 第2部 ・「全社DXプロジェクト『フジトラ』の軌跡」 講師：富士通(株) CDXO室Division長 原 博樹 氏 ・「ビッグデータ活用に関する取り組み」 講師：九州経済調査協会 事業開発部長 岡野 秀之 氏
ベンチャー支援		
2022/10/14	九州・山口ベンチャーマーケットKVM2022 (福岡市)	<内容> ・九州・山口ベンチャーアワーズ(九州9県選抜ベンチャー18社のピッチコンテスト) ・今年度から「GXベンチャー賞」を創設 (主催：九州・山口ベンチャーマーケット実行委員会)
2022/11/18	StartupGo!Go!2022 (福岡市)	<内容> ・国内外30のスタートアップが優勝をかけて行う「The Pitch」を開催 (起業家万博・甲子園への出場権、NEDO「TCP」への選抜権、総務省 NICT・経済産業省 NEDO の九州予選を兼ねる) (主催：(一社)Startup GoGo、共催：九経連)
2022/12/17	第22回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト (福岡市)	<内容> ・コンテスト(31チーム応募) ・表彰式 グランプリ他の表彰 (九経連賞含む) (主催：九州ニュービジネス協議会等)
2023/02/21	第7回九州・大学発ベンチャー振興会議 (福岡市)	<議題> ・「九州・大学発ベンチャー振興会議」活動 報告 ・大学からの報告 ・シーズ事業化の進捗状況 ・PARKSとの連携 ・企業ニーズと大学シーズとのマッチング結果 (事務局：(一社)九州オープンイノベーションセンター、FVP、九経連)
中堅・中小企業の生産性向上への取り組み		
2022/11/29	生産性向上Webセミナー (オンライン、福岡市)	講演①2020年度、2021年度Webセミナーの振り返り(説明：事務局) 講演②「DX・産業用ロボット導入事例～動画を用いて分かりやすく解説」 北九州市ロボット・DX推進センター DX推進部長 藤原 弘光 氏 DX推進担当課長 林 俊夫 氏 ロボットセンター長 片瀬 博治 氏 講演③「簡易IoTツールの利用機会拡大～北九州市から市外へ活用拡大」 公益財団法人北九州産業学術推進機構 産学連携担当部長 白石 肇 氏 講演④「中小企業の生産性向上支援策について」 独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部長 池田 章 氏
サイバーセキュリティ推進への取り組み		
2022/05/19	サイバーセキュリティ推進WG_第1回WG	<議題> ・第1回サイバーセキュリティセミナーの企画検討 ・月報への寄稿依頼 他
2022/09/13	サイバーセキュリティ推進WG_第2回WG	<議題> ・第1回サイバーセキュリティセミナー(8月)実施報告(アンケート結果 他) ・技術者向け勉強会の企画検討

2022/11/2	サイバーセキュリティ推進WG_第3回WG	<議題> ・技術者向け勉強会の詳細検討 ・第2回サイバーセキュリティセミナーの企画検討
2022/12/12	サイバーセキュリティ推進WG_第4回WG	<議題> ・技術者向け勉強会(12月)の実施報告 ・第2回サイバーセキュリティセミナーの詳細検討 ・次年度の取組みについて(照会)
2022/08/30	第1回サイバーセキュリティセミナー (オンライン)	題目：「事業継続のためのサイバーセキュリティ対策」 <講演> ①最新のサイバー攻撃事例について 講師：(株)ラック 三宅 康夫氏 ②サイバーセキュリティお助け隊実証事業、IT導入補助金等について 講師：IPA 平原 隆 氏 ③九州におけるお助け隊実証事業の成果について 講師：(株)BCC 奥 新一郎 氏 ④九州における「地域SECURITY」事業の成果について 講師：三井物産セキュリティソリューション(株) 関原 優 氏
2022/12/1&12/08	セキュリティ技術者(実務者)向けサイバーセキュリティ勉強会 (集合・福岡市)	「サイバーセキュリティトレーニング」内容(実機演習)： マルウェア感染の検知から封じ込め&削除&復旧の手順、Wireshark キャプチャファイルの調査によるフォレンジック対応 等 講師：(株)アクト サイバーセキュリティ事業部 シニアセキュリティエンジニア江藤文治 氏
2023/02/10	第2回サイバーセキュリティセミナー (集合&オンライン)	題目：「激化するランサムウェア、企業が取るべき対策とは？」 <講演> ①ランサムウェアのターゲットと知っておきたい最新のポイント 講師：(株)ラック 武田 貴寛 氏 ②多様化するランサムウェアリスクへの備え 講師：EY 新日本有限責任監査法人 杉山 一郎 氏 ③ランサムウェア被害により企業が負う法的リスクと対策 講師：弁護士 吉井和明 氏 ④ランサムウェアの現状と警察の取組について 講師：福岡県警察本部 福本 正義 氏
2023/03/16～17	第3回九州サイバーセキュリティシンポジウム (長崎市)	<内容> サイバー攻撃の脅威と経済安全保障、地域に与える影響は？～地域企業が保有する先端技術とサイバー攻撃リスク～ ・産業分野におけるサイバーセキュリティ政策 講師：経済産業省 星 代介 氏 ほか
ICT人材育成への取り組み		
2022/07/20	先導的ICT人材育成事業 キックオフ会議 (オンライン、福岡市)	<内容> ・実践インターンシップの概要説明 ・今年度参加学生の紹介 ・今年度参加学生によるスピーチ(抱負等) ・実践インターンシップの進め方の説明
2022/12/21	先導的ICT人材育成事業 第26回成果報告会 (オンライン、福岡市)	<内容> ・今年度参加学生による実践インターンシップの参加報告 ・修了証書授与 ・受入れ企業関係者による講評
2023/3/3	データ活用研修 (オンライン)	<内容> ・DXのX(トランスフォーメーション)の本質 ・データを活用したDX ・データからできるDXの出口戦略 ※講義、ワーク形式による研修

観光委員会

開催日	会合名	内容
2022/10/5	第1回委員会 (福岡市)	<議題> ・2022年度 観光委員会 事業進捗について 演題：地域課題を解決し、地方創生の勝機へと結びつける「VISON」ビジネス構想 ～未来へのまちづくり～ 講師：ヴィソン多気株式会社 ・代表取締役 立花 哲也 氏
2023/02/21	第1回企画部会 (福岡市)	<議題> ・2022年度観光委員会事業報告について 九経連の次年度からの体制について
2023/03/14	第2回委員会 (福岡市)	<議題> ・2022年度観光委員会事業報告について 九経連の次年度からの体制について
サイクルツーリズムの推進 (ツール・ド・九州)		
2023/1/27	ツール・ド・九州 スポンサー記者発表 (福岡市)	・ツール・ド・九州 2023 PR 動画放映 ・ダイヤモンドパートナーならびに 2023 大会 ロゴマーク発表 ・プラチナ・ゴールド・シルバー・ブロンズ・ コンサルティングパートナー・サポーター発表
2023/2/8	ツール・ド・九州 2024 実行委員会設立総会 (福岡市)	<議事> ・実行委員会設立 ・役員選任 ・規約等の承認

農林水産委員会

開催日	会合名	内容
2022/10/12	第1回委員会 (オンライン併用、 福岡市)	<議題> ・2022 年度国への要望活動 ・貨客混載を活用した生産者支援の取り組み ・農業生産者と企業支援農者を結ぶ支援プラットフォーム ・「九州の食輸出協議会」を活用した取り組み ・モビル研究会の取り組み <活動紹介> 演題：「これからの農業ビジネス成功の条件」 ～弊社のご紹介と地域課題/社会課題解決ビジネス事例～ 講師：アグリコネク(株) 常務取締役 木原 透光 氏 <講話> 演題：「農業に未来はあるか」 講師：農林水産委員会 平野委員長 <講演> 演題：「持続可能な農業づくりを目指して」 講師：AGRIST(株) 代表取締役兼最高技術責任者 秦 裕貴 氏
2023/02/16	第2回委員会 (オンライン併用、 福岡市)	<議題> ・2022 年度活動実績報告 ・事業運営体制見直しの検討状況について ・2023 年度活動計画 (案) ・2023 年度国への要望 (案) <活動紹介> 演題：「食と農のバリューチェーンで、次代の農業経営を デザインする日本食農連携機構の取り組み」 講師：(一社) 日本食農連携機構 常務理事 木村 吉弥 氏 <講演> 演題：「コロナ禍、国際紛争、円安等による食料需給 構造の混乱と今後の課題」 講師：学校法人中村学園 顧問 甲斐 諭 氏

2022/06/14	第1回企画部会 (オンライン併用、 福岡市)	<議題> ・2022 年度企画部会活動計画の進捗状況 ・2022 年度国への要望結果 ・現場視察会の実施概要 <講話> 演題：「地域農業を地域企業で支える」 ～農業の活性化に関する三者連携協定の取 り組みについて～ 講師：全国農業協同組合連合会 福岡県本部 営農開発部事業開発課 課長 野口 崇文 氏 農林中央金庫 福岡支店 九州営業統括部長 土田 正典 氏 西日本鉄道(株) 天神開発本部 天神みらい戦略部 部長 吉中 美保子 氏
2023/01/24	第2回企画部会 (オンライン)	<議題> ・2022 年度活動実績 ・2023 年度活動計画(案) ・2023 年度農業・畜産関係要望事項(案) ・その他報告 <意見交換> ・部会員各社の取組状況報告等 ・その他 (情報提供等)
2022/11/02	企画部会 農業関係現場視 察	<視察先> ・佐賀市下水道浄化センター (佐賀市西与賀町) バイオマス活用の取組説明、下水処理施設等見学 ・佐賀市清掃工場 (佐賀市高木瀬町) 佐賀市バイオマス産業都市構想説明、CO ₂ 分離回 収利活用設備等見学 ・ゆめファーム全農 SAGA (佐賀市高木瀬町) キュウリの大規模多収栽培実証施設等見学 <参加者> 10 名
2022/06/15	第1回林業部会 (オンライン併用、 福岡市)	<議題> ・2022 年度林業部会活動計画の進捗状況 ・2022 年度国への要望活動結果 ・ウッド・チェンジ協議会参画状況 ・2022 年度現場視察会の開催案 ・林業関係輸出実績 <講演> 演題：「地域の未来は拓かれるか?～自伐(型) 林 業で定住化の流れ～」 講師：九州大学大学院 農学研究院 森林政策学研究室 教授 佐藤 宣子 氏
2023/01/18	第2回林業部会 (オンライン併用、 福岡市)	<議題> ・2022 年度活動実績報告 ・2023 年度活動計画 (案) ・2023 年度林業関係要望事項 (案) ・林業関係輸出実績
2022/12/07	林業部会 林業関係現場視 察	<視察先> ・中国木材(株) 伊万里事業所 (佐賀県伊万里市) 乾燥加工・集成材工場、プレカット工場、西九州木 材事業協同組合工場、バイオマス発電設備 ・(株)伊万里木材市場 (佐賀県伊万里市) 木材市場視察 「事業WG」及び「調査・研究WG」 同時開催 伊万里木材市場の木材 S C M 先進事例紹介 林業成長産業化地域事例 (再造林、人材育成) ・松尾建設(株) 佐賀本店 (佐賀市) C L T 木造建築 館内視察 <参加者> 23 名
2022/06/21	第1回水産部会 (オンライン併用、 福岡市)	<議題> ・2022 年度水産部会活動計画の実施状況 ・2022 年度水産関係要望事項 <講演> 演題：「海藻で人と地域をすこやかに」 講師：(合) シーベジタブル 共同代表 友廣 裕一 氏

2023/01/17	第2回水産部会 (オンライン併用、福岡市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度活動実績報告 ・2023年度活動計画(案) ・2023年度水産業関係要望事項(案) <p><意見交換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会員各社の取組状況報告等 ・その他(情報提供等)
2022/09/22	林業部会 第1回 モクビル研究会 (オンライン併用、福岡市)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造建築先行事例研究 事例発表1 演題:「ADX会社紹介」 講師: (株)ADX 代表取締役 安齋 好太郎 氏 事例発表2 演題:「地域工務店の林産地連携報告」 講師: (株)安成工務店 代表取締役 安成 信次 氏 ・林業部会SCMの最適化について 「九経連 モクビル研究会活動イメージ」 「製材所調査表(案)」
2022/12/02	林業部会 第2回 モクビル研究会 (オンライン併用、福岡市)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造建築先行事例研究 日本初、香岐の木造4階建て無垢製材あらしビル 『睦モクビル』建設事例 発表① 演題:「香岐に木造ビルを建てるその理由は」 ～日本初の無垢製材あらし木造4階建てビルへの挑戦～ 講師: (株)睦設計コンサルタント 専務取締役 松本 隆之 氏 発表② 演題:「木質構造の構造計算について」 講師: (株)木構堂 代表取締役 渡邊 須美樹 氏 ・林業部会SCMの最適化検討会 九州製材所情報(木材供給能力等)の集約に関する各県調査結果と今後の取扱いについて 川上～川下相互意見等報告(参加者アンケート)
2023/02/13	林業部会 第3回 モクビル研究会 (オンライン併用、福岡市)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造建築先行事例研究 演題:「地域木材を活かした木構造事例」 講師: (株)山田憲明構造設計事務所 代表取締役 山田 憲明 氏 ・林業部会SCMの最適化検討会 今年度の活動を踏まえた次年度の活動計画 施主情報の共有・補完体制の構築

企業の農業参入促進

2022/10/05	九経連・経団連共催 農業活性化に向けた企業タイアップセミナー (東京・経団連会館)	<p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の活性化に向けて、企業の農業参入をはじめとする経済界と農業界のタイアップを促進するため、食と農業専門のコンサル企業や参入企業よりご講演いただくとともに、各県による参入支援体制等を説明。その後、各県産品の展示紹介も含めた交流会を開催 <p><基調講演></p> <p>演題:「次世代農業の実践～食・農業・地域の豊かさを実現する農業ビジネスの現在と未来」 講師: アグリコネクト(株) 社長 熊本 伊織 氏</p> <p><各県プレゼンテーション></p> <p>企業の農業参入状況、支援体制等について 説明者: 大分県農林水産部 新規就業・経営体支援課 参事 首藤 知昭 氏 佐賀県農林水産部 農業経営課 主査 田中 俊彦 氏 宮崎県農政水産部 農業担い手対策課 副主幹 三浦 憲夫 氏 熊本県農林水産部 流通アグリビジネス課 主幹 松崎 敬一郎 氏</p> <p><事例講演></p> <p>その1 演題:「農業と工業の連携による農業活性化の取り組み」 講師: (株)むか野菜光房 社長 島原 俊英 氏</p> <p>その2 演題:「食農観光塾、料理マスターズ、就農支援の取り組みについて」 講師: (株)JTB ツーリズム事業本部 事業推進部地域交流チーム 担当マネージャー 郷 克也 氏</p> <p>演題:「全農×JTBの取り組みについて」 講師: (株)JTB ビジネスソリューション事業本部 第四事業部 担当部長 波多 哲也 氏</p> <p><交流会></p> <p>参加希望者と登壇者の交流会(各県産品も展示) <参加者>79名</p>
------------	---	--

交通委員会

開催日	会合名	内容
2022/11/30	委員会	<p><報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度上期活動報告 ・交通基盤整備に関する要望 <p><講演></p> <p>演題:「次世代を見据えた道路政策」 講師: 国土交通省 九州地方整備局 道路部長 安部 勝也 氏</p>
2022/7/8	第1回企画部会 (福岡市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通基盤整備に関する要望(案) ・2022年度第1四半期活動報告 <p><講演></p> <p>演題:「新たな広域道路交通計画の策定について～九州リングネットワーク～」 講師: 国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路調査官 竹下 卓宏 氏</p>
2022/3/8	第2回企画部会 (福岡市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度下期活動報告 ・2023年度事業計画(案) <p><報告></p> <p>演題:「九州 MaaS プロジェクト研究会の取り組み」 報告: 九州 MaaS プロジェクト研究会 座長 中川 信治 (九経連 観光社会基盤部長)</p>

2022/8 下旬	九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望	<要望先> 内閣府、財務省、経産省、国交省、国会議員等
2023/2/10	北九州空港滑走路延長事業に関する要望	<要望先> 国土交通省 航空局空港計画課長 中原 正顕 氏
九州版 MaaS 構築の検討・推進		
2022/8/8	第1回研究会 (福岡市)	<内容> ・設置要綱、委員承認、座長・副座長互選ほか <講話> 演題：「交通・観光の現状と九州 MaaS への期待」 講師：国土交通省 九州運輸局 交通政策部 交通企画課長 丹下 涼 氏
2022/9/16	第2回研究会 シンポジウム「九州 MaaS シンポジウム 2022」 (福岡市)	<概要> ・MaaS に関する基礎的理解、最新の潮流および目指すべき方向性を共有するとともに九州版 MaaS 構築に向けての機運醸成を図る <内容> 開会挨拶：(一社)九州経済連合会 会長 倉富 純男 来賓挨拶：国土交通省 九州運輸局 局長 鈴木 史朗 氏 経済産業局 九州経済産業局 局長 苗村 公嗣 氏 講演：「アフターコロナにおける観光政策と観光 MaaS への期待」 講師：国土交通省 観光庁長官 和田 浩一 氏 講演：「日本における MaaS の現状と今後について」 講師：国土交通省総合政策局 モビリティサービス推進課長 齋藤 喬 氏 講演：「持続可能なスマートモビリティ社会に向けて～九州のモビリティ戦略～」 講師：(一財)計量計画研究所 理事兼研究本部企画戦略部長 牧村 和彦 氏 パネルディスカッション テーマ：「九州 MaaS のポテンシャルとその実現に向けて」 パネリスト (一財)計量計画研究所 理事兼研究本部企画戦略部長 牧村 和彦 氏 塩尻市役所 産業振興事業部 先端産業振興室 室長 太田 幸一 氏 九州 MaaS プロジェクト研究会 座長 中川 信治 コーディネーター (株)MaaS Teck Japan CEO 日高 洋祐 氏
2022/10/6	第3回研究会 (宮崎市)	<内容> ・九州 MaaS に求められる機能を考えるワークショップ
2022/12/21	第4回研究会 (熊本市)	<内容> ・九州 MaaS の運営方法等を検討する
2023/2/6	第5回研究会 (長崎市)	<内容> ・グランドデザイン一部内容における協議
2023/3/29	第6回研究会 (福岡市)	<内容> ・グランドデザイン取りまとめ
地域交通最適化の検討・推進		
2022/4/20	MaaS マッチング交流会オープニングイベント (福岡市)	<試乗会> ・EV マイクロバス試乗会 (百道浜地区) (株)EV モーターズ・ジャパン <講演> 演題：「地域の次世代モビリティ実現に向けて」 講師：経済産業省 九州経済産業局 地域経済部 情報政策課デジタル経済室 課長補佐兼室長 春日 浩子 氏 演題：「基山町版 MaaS への取り組み」 講師：佐賀県三養基郡基山町 町長 松田 一也 氏 演題：「〇〇産 MaaS の創り方 モビリティは勿論、社会・都市・生活も変容」 講師：熊本学園大学経済学部 教授 満上 章志 氏

2022/5/23	MaaS マッチング交流会 (福岡市)	<講演> 演題：「交通からいい街、いい暮らしづくりのポテンシャル」 講師：(一社)JCoMaaS 理事 神田 佑亮 氏 演題：「モビリティを通じて地域を元気に！」 講師：トヨタ自動車(株) CV カンパニートータルソリューション事業室 トヨタGソリューショングループ グループ長 丹波 宏成 氏 <交流会> 「地域交通に関する相談会・交流会」 (参加自治体) 行橋市・みやま市・香春町・嘉麻市・鹿島市 宗像市・基山町・福津市・筑紫野市 (出展企業) ネクスト・モビリティ(株)・BOLDLY(株)・菱電商事(株) (株)MaaS Teck Japan
2022/6/2	第2回きよま地方創生モビリティ研究会 (佐賀県基山町)	<概要> ・スマートモビリティ実証実験の報告 開会挨拶：佐賀県基山町 町長 松田 一也 氏 副会長挨拶：基山商工会議所 副会長 松隈 浩 氏 報告：(株)福山コンサルタント 課長 山下 賢一郎 氏

国際委員会

開催日	会合名	内容
2023/03/02	委員会・特別講演 (福岡市)	<議事> ・報告 国際委員会 2022 年度事業実績 ・報告 国際委員会 2023 年度九州経済連合会 組織改編(案) <特別講演> (テーマ)『九州と世界のつなぎ方 ～東アジアの情報ハブを目指して～』 (講師) 外務省 儀典総括官 石川 勇 氏
2022/10/28	企画部会・特別講演 (福岡市)	<議事> ・2022 年度上期事業実績・下期事業計画 <特別講演> (テーマ)『メタバースのビジネス上の可能性と 凸版印刷の取り組みについて』 (講師) 凸版印刷株式会社 九州事業部 安東 義史 氏
環黄海交流事業		
2022/11/25	第20回環黄海経済・技術交流会議 (オンライン開催)	<内容> ・「経済・技術」「地域間交流」の2分野をテーマに「環黄海経済・技術交流会議を開催、3か国の技術・取り組みを紹介し、総括を実施」 <講演> (経済・技術分野) ・「気候変動に対応したカーボンニュートラル技術の紹介～災害レジリエンス向上に向けて～」 (株)くりか 代表取締役社長 榎木 真一 氏 ・「資源の有効利用によるサツマイモ発電」 霧島酒造(株)グリーンエネルギー本部本部長 田原 秀隆 氏 『都市鉱山に含まれる資源の損失を減らし、価値を高める方法』 (株)アステック入江 FM 事業部技術グループリーダー 高橋 宏幸 氏 (地域間交流分野) ・『ツール・ド・九州プロジェクトについて』 (一社)九州経済連合会 観光社会基盤部部長 中川 信治

中国との経済交流事業		
2022/05/20	中国蘇州・日本九州経済協力交流会及び 中日（蘇州）地方発展協力モデル区説明会 (オンライン開催)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘇州市は、2020年4月に設立された中日地方発展モデル区の一つである。中国江蘇省の蘇州市が九州地域経済界との友好交流と協力関係を更に向上させるために、セミナーを開催 <p><出席者></p> <ul style="list-style-type: none"> 蘇州市市長 呉 慶文 氏 中華人民共和国駐福岡総領事 律 桂軍 氏 在上海日本国総領事 赤松 秀一 氏 江蘇省外事弁公室一級巡視員 黄 錫強 氏 福岡県商工部部長 初田 寿 氏 (一社)九州経済連合会会長 倉富 純男 (公社)福岡貿易会会長 土屋 直知 氏 江蘇省発展改革委員会副主任 林 康 氏 日中投資促進機構事務局長 岡 豊樹 氏 中日インダストリアルデザインセンター理事長 王 達 氏
台湾との経済交流事業		
2022/10/24	台湾・日本(九州)経済交流フォーラム 2022 (オンライン開催)	<p><内容></p> <p>TSMCの熊本進出をきっかけに、更なる経済交流の促進、台湾企業の九州への投資促進、台湾企業と九州企業との協業・連携等を目的として、九州のビジネス・投資環境の魅力や各種支援策、日本へ進出した台湾企業の事例等について紹介</p> <p><講演></p> <p>「九州のビジネス・投資環境の魅力」 九州経済産業局 国際部 投資交流促進課 「Succeed Together in Kyushu and Beyond」 日本貿易振興機構 (JETRO) 「九州の地方自治体における対日投資支援策と事例紹介」 福岡市経済観光文化局 創業・立地推進部企業誘致課 熊本県 商工労働部 産業振興局 企業立地課 「台湾企業の日本への投資・連携事例紹介」 NextDrive 株式会社 Whoscall 株式会社</p>
韓国との経済交流事業		
2022/10/04	九州・韓国経済協力会議 2022 (釜山広域市)	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州と韓国が中小企業を中心に、それぞれが有する資金、技術、人材等の地域資源を相互補充し、貿易、投資及び産業技術の交流拡大と地域間交流を促進することを目的に開催 <p>(出席者)</p> <p>【九州側】8名 (一社)九州経済連合会会長 倉富 純男 【韓国側】20名 (社)韓日経済協会 常勤副会長 徐 錫崇 氏</p> <p>(テーマⅠ)「地域間交流の促進」 (発表者) ・(一社)九州経済連合会 国際部長 竹下 啓二</p> <p>(テーマⅡ)「グローバル人材活用」 (発表者) ・(一社)九州日韓経済交流会 専務理事・鈴木 重幸 氏 ・(一社)九州経済連合会 国際部長 竹下 啓二</p>
ベトナムとの経済交流事業		
2022/09/14 ～09/17	九州・ベトナム経済交流ミッション 2023 事前協議 (ベトナム・ハノイ)	<p><内容></p> <p>KPC グランドオープニングセレモニー及びミッション団派遣の説明と協力要請の為に現地を訪問し事前協議を実施</p> <p><訪問先></p> <p>在ベトナム日本国大使館、ベトナム政府機関の外務省、計画投資省、商工省、JETRO ハノイ</p>

2023/03/06 ～03/09	九州・ベトナム経済交流ミッション 2023 (ベトナム・ハノイ)	<p><目的></p> <p>KPC グランドオープニングセレモニー開催の為にベトナム訪問機会を捉え、ベトナム国関係政府機関(外務省、計画投資省等)の表敬訪問、KPCでの食の商談会を実施</p> <p><構成></p> <p>(一社)九州経済連合会専務、九州経済産業局局長、九州ベトナム友好協会会長、商談会参加企業 他</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム政府機関(首相府、外務省、計画投資省、ハノイ市人民委員会)訪問 ・KPC グランドオープニングセレモニー開催に合わせ、九州の食材に関する商談会を KPC にて開催 ・セレモニー終了後、ベトナム政府機関、ベトナム側商談会参加企業と関係の層強化を目的にレセプションを開催
2023/3/7	九州プロモーションセンター(KPC) グランドオープニングセレモニー開催 (ベトナム・ハノイ)	<p><内容></p> <p>九州の食文化や企業をPRする拠点「九州プロモーションセンター(KPC)」の本格開業を記念し、式典を開催</p> <p><参加者></p> <p>(一社)九州経済連合会 名誉会長、九州経済産業局 局長、九州ベトナム友好協会 会長、在ベトナム日本国大使館、JETRO ハノイ、ベトナム外務省大臣補佐官、熊本県観光戦略部政策審議監、在福岡ベトナム総領事 他</p>
タイとの経済交流事業		
2022/11/09 ～11/12	九州・タイヘルスケアミッション 2023 事前協議 (タイ・バンコク)	<p><内容></p> <p>本ミッションの説明と協力要請の為に現地を訪問し事前協議を実施</p> <p><訪問先></p> <p>タイ投資委員会(BOI)、タイ保健省、JETRO バンコク、介護施設、高齢者向け病院・住宅など</p>
2023/02/08 ～02/11	九州・タイヘルスケアミッション 2023 (タイ・バンコク)	<p><目的></p> <p>タイ投資委員会(BOI)との MOU を活かし、在福岡タイ王国総領事館や関係機関、産業クラスター等と連携しつつ、企業ニーズを踏まえた経済交流ミッションを派遣</p> <p>今回は、近年タイ国内での高齢化の進行に伴い、需要の高まりを見ているヘルスケア産業をテーマとして実施</p> <p><構成></p> <p>(一社)九州経済連合会専務、九州経済産業局国際部長、企業、JICA 等</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地政府機関 (BOI、保健省、社会開発人間安全保障省)、タイ商工会議所 等訪問 ・現地企業(パラマウントベッド、高齢者施設)視察 ・九州側ヘルスケア関連企業とタイ各分野有識者との相談会
行財政委員会		
開催日	会合名	内容
2023/3/10	委員会 (福岡市)	<p><議事></p> <p>2022 年度事業報告 2023 年度九経連事業体制についての報告</p>
2023/3/3	企画部会 (福岡市)	<p><議事></p> <p>2022 年度事業報告 2023 年度九経連事業体制についての報告</p>

ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会

開催日	会合名	内容
2022/4/22	第1回企画部会 (オンライン併用、福岡市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・22年度事業計画 <九州企業ジェンダーギャップ指数検討WG> ・「九州企業ジェンダーギャップ指数」トライアルのフィードバック及び今後の展開について <p><参考報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九経連策定「幸せコミュニティ」指標について
2022/10/12	第2回企画部会 (オンライン併用、福岡市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「九州企業ジェンダーギャップ指数」再トライアル結果とフィードバック ・「九州企業ジェンダーギャップ指数」の今後の進め方 <p>意見交換</p>
2023/2/21	第3回企画部会 (オンライン併用、福岡市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度事業活動報告 2022年度事業活動 全体報告 (活動トピックス) ・「九州企業ジェンダーギャップ指数」集約・分析 結果報告 ・九州各県の女性活躍推進活動体ヒアリング結果 まとめ報告 ・九経連「出合いの場サポート事業」実績報告まとめ ・その他取り組み報告 2件 ・意見交換 ・九経連 事業運営体制の検討状況について ※ 1/27 正副会長・委員長会議内容より
2023/03/29	委員会 (オンライン併用、福岡市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度事業活動報告 2022年度事業活動 全体報告 (活動トピックス) ・「九州企業ジェンダーギャップ指数」集約・分析 結果報告 ・九州各県の女性活躍推進活動体ヒアリング結果 まとめ報告 ・九経連「出合いの場サポート事業」実績報告まとめ ・その他取り組み報告 2件 ・意見交換 ・九経連 事業運営体制について ※ 3/22 九経連理事会報告内容より
女性活躍		
2022/8/4・5	九州地域戦略会議 夏季セミナー 第4分科会	<p><テーマ></p> <p>「心の豊かさを成長につなげる「幸せコミュニティ」の実現に向けて」のテーマのもと、「女性活躍」「デジタル化」「地域成長」各々の視点から九州の産学官トップリーダー層での議論を実施。九州スマートリージョン構想(仮称)の取り組み推進を提案。</p> <p>⇒本格的にデジタルを活用した広域連携取り組みを検討・実行段階へ深化。</p> <p><座長 分科会討議内容説明></p> <p>九経連理事・ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進委員会副委員長 (株)テノ、ホールディングス 社長 池内比呂子</p> <p>・テーマ背景、テーマの狙いとその討議内容、テーマに基づく中心となる討議論点</p> <p><課題提起者></p> <p>九経連 専務理事 平井 彰</p> <p>・九州将来ビジョン 2030 と「幸せコミュニティ」指標</p> <p>日立製作所 フェロー (株)ハビネスプラネット 代表取締役 CEO 矢野 和男 氏</p> <p>・「ウエルビーイング経営の本質～利益と幸せをつなぐには～」</p> <p>九経連行財政委員会 企画部会長 福岡地域戦略推進協議会事務局長 石丸 修平氏</p> <p>・「九州スマートリージョン構想(仮称)～心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティに向けて～」</p> <p><分科会出席者></p> <p>九州・山口・沖縄の産学官トップリーダー 49名</p>

2022/11/21	在福岡米国領事館主催「ダイバーシティ推進」に関する意見交換会	<p><テーマ></p> <p>D E I A (多様性、公平性、包括性、アクセシビリティ) に関する取組み</p> <p><意見交換会 出席者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐日米国大使館首席公使 レイ・グリーン 氏 ・在福岡米国領事館首席領事 チェカ・アシーケ 氏 ・ステートストリート信託銀行(株) マネージングディレクター アリソン・バーチ 氏 ・西部ガスホールディングス(株) 取締役常務執行役員 高山 健司 氏 ・(株)岩田屋三越 取締役執行役員 総務・経営企画部長 和田 金也 氏 ・WE-Nextの会 代表<(株)サイズラーニング 代表取締役> 高見 真智子 氏 ・(学)中村産業学園 九州産業大学 タイバーシティ推進室長 佐々木 圭子 氏 ・西日本鉄道(株) 人事部人事課長 小林 千花 氏
2023/2/9	山口県及び福岡県内女性管理職による意見交換会 (オンラインにて)	<p><テーマ></p> <p>・地域、企業の実態、取組み</p> <p>女性管理職の状況や女性従業員の女性活躍に対する意識や考え方</p> <p>・部下の育成</p> <p>将来、管理職を目指すか否かのヒアリングについて</p> <p>リーダー育成、管理職候補者へのエンカレッジ など</p> <p>・管理職としての心がけ</p> <p>後進育成及びコミュニケーション</p> <p>モチベーションやキャリア形成(自己啓発など)</p> <p><意見交換会 出席者></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆山口県輝き女性サポーターメンバー 6名 ・(株)宇部情報システム マネジャー 洲上 洋子 氏 ・(株)西京銀行 個人営業部副部長兼資産運用相談室長 荒瀬 ひろみ 氏 ・(福)ひとつの会 施設長 藤本 敏恵 氏 ・(一財)防府消化器病センター 病院長補佐 法人事務局 常任理事 栗林 左知 氏 ・(大)山口大学 総務課長 伊東 明美 氏 ・(学)Y I C学院 リカレント事業室長 中西美和子 氏 ◆WE-Net 福岡 ・(株)ポータル 人材開発部長 古田 香 氏 ・(株)岩田屋三越 ファッション&ライフスタイル・三越新規創造営業部部長 曾根 ゆかり 氏 ・(学)中村産業学園 九州産業大学 タイバーシティ推進室長 佐々木 圭子 氏 ・F U T A E D A(株) ヘルスケア事業部課長 高部和子氏 ◆オブザーバー ・(株)山口銀行 会長 神田 一成 氏 ・(株)山口フィナンシャルグループ 人材支援部人財開発室長 迫田 寛和 氏 ・山口県環境生活部男女共同参画課 課長 尾上 真弓 氏 ・山口県環境生活部男女共同参画課 主査 田中 和代 氏
幸せコミュニティ		
2022/8~10	各地域委員会	<p>熊本を皮切りに鹿児島、大分、宮崎、佐賀、長崎の各委員会にて本部報告を実施</p> <p><本部報告テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州将来ビジョン 2030 と「幸せコミュニティ」指標について ・九州企業ジェンダーギャップ指数の策定状況と協力依頼

関門連携委員会

開催日	会合名	内容
2022/06/09	第1回委員会 (北九州市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度活動結果 ・関門地域の活性化に関する調査報告 (株)YMFG ZONE プランニング 社長 藏重 嘉伸 氏 ・2022年度事業計画(案) <p><講演></p> <p>演題：「TOTO グループにおける SDGs への貢献～カーボンニュートラルで持続可能な社会の実現に向けて～」</p> <p>講師：TOTO(株)経営企画本部 ESG 推進部 主幹 曾根崎 修司 氏</p>
2022/07/31	下関北九州道路整備促進大会 (下関市)	<p><主催団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下関北九州道路建設促進協議会 ・中国経連、九経連、関門連携委員会 ・下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 <p><大会決議></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 早期事業化に向け、国と2県2市が協力のもと、環境影響評価や都市計画課決定の手続きを進めること 2. PFI等の活用など官民連携による効果的な整備手法の検討を促進すること 3. 地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
2022/08/24	下関北九州道路の早期実現に関する要望 (郵送)	<p><要望団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下関北九州道路建設促進協議会 ・関門連携委員会 <p><要望先> 国交省、財務省、自民党、公明党等</p>
2022/08/31	下関北九州道路中央要望 (東京都)	<p><要望団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下関北九州道路建設促進協議会 ・中国経連、九経連、関門連携委員会 ・下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 <p><要望先> 国交省、財務省、自民党、公明党</p>
2022/10/05	第2回委員会 (書面開催)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関門地域の活性化推進に関する要望(案)
2022/11/30	関門地域の活性化推進に関する要望活動 (東京都)	<p><要望団体> 関門連携委員会</p> <p><要望先> 国土交通省、内閣府、財務省等</p>
2023/2/27	第3回委員会 (下関市)	<p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度実施状況報告 ・2023年度事業計画(案) <p><講演> 演題：世界に誇れるウォーターフロントを目指した海峡都市構想</p> <p>講師：(一社)海峡都市関門 DMO 代表 巖洞 秀樹 氏</p>

地域委員会

開催日	会合名	内容
熊本		
2022/8/23	熊本地域委員会 (熊本市)	<p><本部報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州将来ビジョン 2030と幸せコミュニティ指標 ・九州ジェンダーギャップ指数について <p><講演></p> <p>「ジェンダー平等社会実現に向けて」 (株)テノ. ホールディングス 代表取締役社長 池内比呂子 氏</p> <p><意見交換> 会長との意見交換</p>
鹿児島		

2022/8/30	鹿児島地域委員会 (鹿児島市)	<p><本部報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州将来ビジョン 2030と幸せコミュニティ指標 ・九州ジェンダーギャップ指数について <p><講演></p> <p>「ジェンダー平等社会実現に向けて」 (株)テノ. ホールディングス 社長 池内 比呂子</p> <p><意見交換> 会長との意見交換</p>
大分		
2022/8/31	大分地域委員会 (大分市)	<p><本部報告></p> <p>同上</p> <p><講演></p> <p>「企業における多様性推進とその必要性について」 西部ガスホールディングス(株) 取締役常務執行役員 高山健司氏</p> <p><意見交換> 会長との意見交換</p>
宮崎		
2022/9/15	宮崎地域委員会 (宮崎市)	<p><本部報告></p> <p>同上</p> <p><講演></p> <p>「企業における多様性推進とその必要性について」 西部ガスホールディングス(株) 取締役常務執行役員 高山健司氏</p> <p><意見交換> 会長との意見交換</p>
佐賀		
2022/9/29	佐賀地域委員会 (佐賀市)	<p><本部報告></p> <p>同上</p> <p><講演></p> <p>「岩田屋三越の業務改革と働き方の変化」 (株)岩田屋三越 取締役執行役員 和田金也氏</p> <p><意見交換> 会長との意見交換</p>
長崎		
2022/10/6	長崎地域委員会 (長崎市)	<p><本部報告></p> <p>同上</p> <p><講演></p> <p>「岩田屋三越の業務改革と働き方の変化」 (株)岩田屋三越 取締役執行役員 和田金也氏</p> <p><意見交換> 会長との意見交換</p>
大分		
2023/3/8	大分地域委員会 DX セミナー (大分市)	<p><講演></p> <ol style="list-style-type: none"> ①「デジタル化と企業文化改革でDX」 柳井電機工業(株)社長 柳井 智雄氏 ②「DX経営の実践 ～DXを経営に活用するには～」 (株)オーイーシー DX・海外連携推進室次長 川野 芳樹 氏
鹿児島		
2023/3/14	熊本・鹿児島合同地域委員会 (鹿児島市)	<p><講演></p> <p>「カーボンニュートラルとこれからの企業の取組み」 長崎大学教育学部 教授 藤本 登 氏</p> <p><報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・九経連の取り組み紹介 (GX 関連) ・鹿児島銀行 SDGs 導入支援
宮崎		
2023/3/23	宮崎地域委員会 女性活躍推進セミナー (宮崎市)	<p><講演></p> <p>「実践して感じた女性活躍推進のカギ」 えびの電子工業(株)社長 津曲 慎哉 氏</p> <p><パネルディスカッション></p> <p>コーディネーター 宮崎大学 地域資源創成学部 准教授 土屋 有 氏</p> <p>パネリスト KIGURUMI.BIZ(株) 代表取締役 加納 ひろみ 氏 宮崎大学 清花アテナ男女共同参画推進室 副室長 清水鈴代 氏</p>
北九州		
2023/3/27	山口・北九州合同地域委員会 (北九州市)	<p><演題></p> <p>「企業における多様性推進～女性管理職として 33年間走り続けて～」 (株)博多ステーションビル 取締役事業推進部門長 吉留 景子 氏</p> <p><意見交換会></p> <p>北九州・山口地区の現状報告、意見交換</p>

IV

関連団体活動

西日本経済協議会

開催日	会合名	内容
2022/4/12	第1回専務理事会 議 (大阪市)	<議題> ・ 2022年度の活動の進め方等 ・ 2022年度分科会の取組み ・ 各経連2022年度の事業計画と重点取組事項
2022/4/26	第1回担当者会議 (広島市)	<議題> ・ 2022年度の活動の進め方等 ・ 分科会の取組みについて ・ 当面の予定と依頼事項
2022/7/6	第2回担当者会議 (広島市)	<議題> ・ 西日本経済協議会 総会及び要望活動の進め方等について ・ 決議文(要望書)案について
2022/9/7	幹事会 (尾道市)	<議題> ・ 第64回総会について ・ 要望活動について ・ 分科会の進捗状況について
2022/10/17	総会 (松江市)	<議題> ・ 前年度活動報告 ・ 各地経済連合会からの発言 ・ 分科会活動報告 ・ 決議採択 <講演> 演題：神在月のくに「出雲」で学ぶ日本の胆力 ～伊勢神宮と出雲大社の神話世界～ 講師：万九千神社宮司、島根県神社庁参与 錦田 剛志 氏
2022/11/9	要望活動 (東京都)	<要望先> 首相官邸、内閣府、財務省、経済産業省、国土交通省、総務省、自由民主党本部

九州航空宇宙開発推進協議会

開催日	会合名	内容
2022/05/27	第1回幹事会 (福岡市,リモート併用)	<議題>(総会議案の事前審議) ・ 2021年度事業報告、決算報告 ・ 第3次アクションプラン ・ 2022年度事業計画案、収支予算案、役員選任案
2022/07/27	総会 (福岡市,リモート併用)	<議題> ・ 2021年度事業報告、決算報告 ・ 第3次アクションプラン ・ 2022年度事業計画案、収支予算案、役員選任案 <特別講演会> 「国内外のスペースポートの現状とスペース大分の可能性」 一般社団法人 Space Port Japan 共同創業者&理事 青木英剛 氏

2023/03/22	第2回幹事会 (福岡市,リモート併用)	<活動状況報告、総括> ・ 九航協航空産業連絡(準備)会議(新 QAN) ・ 航空グリーン・イノベーション関連事業創生可能性調査 ・ 航空人材の育成と航空への啓蒙活動 ・ 九州宇宙開発ビジネス交流会 ・ 九州域内航空宇宙データベースに関する検討会 ・ 衛星データ利用に関する生産性・コスト実証を含む事例集の作成とビジネスモデルの検討 ・ 既存射場の活用研究会 ・ 第19回種子島ロケットコンテスト<報告>
種子島ロケットコンテスト大会		
2023/03/02	第19回種子島 ロケットコンテスト 大会	<技術発表会> ・ロケット部門 / CanSat 部門 <プレゼンコンテスト> ・ロケット部門 / CanSat 部門 <ワークショップ> ・ロケット部門 / CanSat 部門
九航協航空産業連絡(準備)会議		
2022/06/24	九州航空産業 に関わる新プラ ットフォーム説明	<議題> ・事務局新体制説明 ・新プラットフォーム説明
2022/09/27	第1回準備会 議(福岡市,リ モート併用)	<議題> ・ 九航協航空産業連絡会議について概略説明 ・ 参加各県の自己紹介及び活動状況紹介 ・ 「エンジンフォーラム神戸 2022」の準備状況の説明と出展方針説明 ・ 他地域のクラスターとの交流時期・方法の協議 <講話> 「航空産業の現況」 (株)Japan エアロインスペクショ ン 主席コンサルタント 平元 日出雄 氏
2022/10/25	エンジンフォー ラム 神戸 2022 出展(神戸市)	・ 新 QAN 会員のうち2社が参加 ・ 事前調整した商談を会場内で実施 ・ 会場内で神戸エアロネットワーク (KAN) と新 QAN、FAIN、NAIC にて名刺交換を実施
2022/12/06	第2回準備会 議(福岡市,リ モート併用)	<議題> ・ 2023年度の活動・運営体制の検討 ・ エンジンフォーラム神戸 2022の報告
2023/02/22	第3回準備会 議(福岡市, リモート併用)	<議題> ・ 2022年度事業報告 ・ 2023年度事業計画(案) <講演> 「航空グリーン・イノベーション技術」 (株)航研 代表取締役 奥田 章順氏 本講演は第3次アクションプランの「航空グリーン・イノ ベーション関連事業創生可能性調査」の一環
オール九州による宇宙開発促進に向けた射場活用研究会		
2022/4/1 ~ 2023/3/31	要望書提出後 の活動	・国(JAXA等)との協議 ・内之浦射場を利用した宇宙開発活動(個別案件)の誘致 ・県内外の企業、大学と交渉。「打上実験」に加え「燃焼実験」の誘致可能性を協議 ・ロケットエンジンの「燃焼実験施設」の建設可能性調査 ・地元での活動体制(及び受入環境)の構築

知的財産権研究会

開催日	会合名	内容
2022/04/15	第 387 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「産業構造審議会 知的財産分科会資料（知財係争）の ご紹介 並びに 日鉄総研の業務紹介」 日鉄総研(株) 宮前 収 氏 黒崎 洋介 氏 本田 朋也 氏 <報告> 「九経連・知財研 定例会のハイブリッド/リモート開催形式について」 (株)パナソニック IP マネジメント 下田 晴朗 氏
2022/05/20	第 388 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「リンク提供行為と著作権法の保護法益」 佐賀大学 孫 友容 氏 <報告> 「特許権侵害損害賠償請求控訴事件、 「流体給油装置」事件」 加藤合同国際特許事務所 白垣 耕一郎 氏
2022/06/17	第 389 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「個人情報保護法の観点から見たプライバシー・バイ・デザインの データクッキー問題」 競技世界(北京)ネットワーク有限公司 林 娜 氏 <報告> 「経産省・標準必須特許実交渉指針のポイントと今後の活用」 九州大学・平山法律事務所 平山 賢太郎 氏
2022/07/15	第 390 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「プラットフォームビジネスと知的財産法」 九州大学大学院 小島 立 氏 <報告> 「遠隔監視システムに関する特許裁判例」 東京エレクトロ九州(株) 山崎 夏樹 氏
2022/08/26	第 391 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「E U における修理する権利・知的財産権・競争法 - スペーパー ツの提供及び互換性確保のための情報提供に焦点を当てて」 福岡工業大学 橋 雄介 氏 <報告> 「令和 3 年 9 月 2 7 日大阪地裁判決 「商標のハッシュタグ使用につ き、商標的使用を認めた事例」」 「令和 3 年 1 2 月 1 0 日東京地裁判決「ツイートのスクリーンショットを 引用リツイートしたことによる著作権侵害を認めた事例」への考察」 米山法律事務所 米山 功兼 氏
2022/9/16	第 392 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「作家活動とそれに関わる法律問題（著作権等）」 隈 園法律事務所 隈 真規 氏 <報告> 「ランサムウェアによるサイバー攻撃と知的財産の保護 （営業秘密を中心に）」 三井物産セキュアディレクション(株) 藤岡 福資郎 氏
2022/10/21	第 393 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「『FC2vs ドワンゴ』から見る域外適用についての検討」 特許業務法人 I P X 押谷 昌宗 氏 <報告> 「フリーダー写真掲載事件（東京地判令和 4 年 7 月 19 日）」 西南学院大学 山田 憲一 氏
2022/11/18	第 394 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「画像生成 AI と著作権法」 関西学院大学 谷川 和幸 氏 <報告> 「「営業活動に伴う他社比較と信用毀損行為」 知財高裁令和 4 年 1 月 2 7 日判決（オリゴ糖含有食品事件）」 青山法律事務所 青山 隆則 氏
2022/12/16	第 395 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「特許分類の成り立ちとその活用について ～ 検索で高品質・高効率を実現するために～」 (株)パナナレッジパートナー 戸田 俊之 氏 <報告> 「画像意匠の出願の意義について」 (株)ゼンリン 緒林 隆則 氏
2023/01/20	第 396 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「間接侵害について（特許法 101 条 2 号に関する判例）」 日本製鉄(株) 末永 哲也 氏 <報告> 「知財高判令和 2 年 3 月 19 日（令和 1 年（ネ） 第 10049 号・商標権侵害行為差止等請求控訴 事件、金商 1597 号 8 頁）」について」 西南学院大学 原 謙一 氏

2023/02/17	第 397 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「①2022 年に気になった商標判決のご紹介～KENT BROS. 事件～ ②知財系 YouTuber のご紹介」 (株)寿ホーディングス 大山 浩志 氏 <報告> 「①公共図書館と著作権、そしてキャンディ事件 ②当方担当の 著作権連載コーナーの紹介」 藤岡行政書士法律事務所 藤岡 希美 氏
2023/03/17	第 398 回 定例会 (福岡市)	<報告> 「外野席から見た製菓メーカーの特許係争と特許戦略(厚生労 働省の戦略含む) ～特許法と薬機法の二重保護による究極的 な活用～」 (株)安川電機 石橋 一郎 氏 <報告> 「欧州統一裁判所、欧州及びドイツ意匠制度」 特許法律事務所 T B K マティアス・グリル 氏他

九州 IR 推進協議会

開催日	会合名	内容
2022/04/13	役員会 (福岡市)	・ 2021年度 事業報告及び決算について ・ 2022年度 事業計画（案）、予算（案） について ・ 九州・長崎IR区域整備計画（案）説明
2022/08/26	第 3 回九州 IR ビジネス セミナー (オンライン開催)	<テーマ> ・ IR産業における調達のプロセスと実例 <パネルディスカッション> ・ 地元調達需要とプロセスについて <ゲストインタビュー> ・ 国際IR産業の体験談と実例について

九州国際医療機構

開催日	会合名	内容
2022/04 ～2023/03	「WeChat」公式アカウント 「KIMO 九州」からの継続的 情報発信 (中国人利用者へ情報発信)	<実施> 「九州国際医療機構」の情報発信。 ・医療情報（九州・日本の医療機関・医師情 報）と観光情報を、年間 52 回配信 (毎週金曜日 PM7 時に記事掲載)
2022/06/02	2022 年度幹事会 (オンライン開催)	<議題> ・2021 年度 活動報告・ 2021 年度収支報告書 ・2022 年度 事業計画 2022 年度 収支計画案 ・ワーキングについて ・外国人患者未収金対策について
2022/7/5 ～7/13	九州国際医療機構 アンケート	<実施> ・「国際化の進捗管理」について 指標項目・進捗管理項目
2022/7 ～2023/3	ホームページ資料 共有	<実施> ・活動概要 ・パートナー医療機関の紹介 ・パートナー企業の紹介 ・九州県別 外国人対応窓口
2022/09 ～2023/3	共有チャットツール「Slack」 の運用開始	「オープンチャンネル」 ・医療機関連携推進 WG アンケート結果・医療機関連携フロー 会員企業・医療機関のご紹介 ・書類整備推進 WG 翻訳書類一覧 書式提供に関する合意書 利用申込書・利用規約 他 「プライベートチャンネル」 ・「機構ライブラリ」書式リスト・書式事例他
2022/09/22	ワーキング 4 テーマ (医療機関 連携推進 3 書類整備推進 3 広報活動推進 1 医療渡航推進 1 ワーキング)	<開催> ・医療機関連携推進フローについて ・書類整備推進フローと共有使用ツール「機構 ライブラリ」について ・広報活動推進キックオフ、セミナー・ホームペ ジ掲載等プランについて ・医療渡航推進キックオフ、ターゲット・コンテ ンツ等プランについて

2023/2/2	主催ウエビナー	〈開催〉 「外国人患者受入のための言語対応ウエビナー」 ・座長（社医）聖マリア病院 浦部大策 氏 ・基調講演「医療通訳士制度の紹介」 大阪大学大学院教授 中田 研 氏 ・「医療現場における電話通訳」 ㈱ピーボーン パークレーマッシュー 氏 ・「多言語支援サービスの紹介」 ㈱アリオジーサーブスウェア 中山 徹 氏 ・「医療分野における通訳を含めた取組紹介」 ㈱BRICK's 石塚 和幸 氏
----------	---------	---

九州の食輸出協議会

開催日	行事の名称等
2022/06/17	2022 年度総会
2022/07/15～07/29	イオンマレーシア 九州フェア開催 イオンカンボジア 九州フェア開催
2022/08/23	2022 年度第 1 回定例会及び第 1 回九州の食輸出商談会
2022/11/05～11/10	第 5 回中国国際輸入博覧会（CIIE2022）出展
2022/11/08～11/27	イオンカンボジア 九州フェア開催
2022/11/17～11/24	イオンマレーシア 九州フェア開催
2022/12/15	2022 年度第 2 回定例会
2023/01/30	2022 年度第 2 回九州の食輸出セミナー & 商談会
2023/03/23	2022 年度九州の食輸出協議会、九州の食の輸出推進チーム合同会議

東九州軸推進機構

開催日	会合名	内容
2022/4/28	第 1 回実務者会議 (行橋市)	〈議題〉 第 32 回総会議案 〈視察〉 東九州自動車道 苅田北九州空港～行橋間四車線化等事業 案内：西日本高速道路株式会社 九州支社 北九州高速道路事務所
2022/5/18	第 1 回幹事会 (書面開催)	〈議題〉 第 32 回総会議案
2022/7/26	第 32 回総会 (北九州市)	〈議題〉 ・ 2021 年度事業報告、収支決算報告 ・ 2022 年度事業計画(案)、収支予算(案) ・ 東九州地域の活性化推進に関する要望(案) 〈講演〉 演題：「高速道路と地方創生～三重県多気町 VISON[ヴィソン]開発に学ぶ地方創生～」 講師：ヴィソン多気(株) 代表取締役 立花 哲也 氏
2022/8/1	東九州自動車道建設促進地方大会 (大分市)	〈主催団体〉 ・ 東九州軸推進機構 ・ 東九州自動車道建設促進協議会 〈大会決議〉 ・ 予算確保 ・ 未事業化区間の早期事業化等、8 項目を決議 〈講演〉 演題：「高速道路は地域づくりのプラットフォーム」 講師：西日本高速道路(株)九州支社 地域共創担当部長 瀧野 昌志 氏
2022/08/24	東九州地域の活性化推進に関する要望 (郵送)	〈要望団体〉 ・ 東九州軸推進機構 〈要望先〉 国土交通省、財務省、自由民主党、公明党等
2022/10/21	東九州自動車道建設促進中央大会 (東京都)	〈主催団体〉 ・ 東九州軸推進機構 ・ 東九州自動車道建設促進協議会 〈要望先〉 国土交通省、財務省、自由民主党

下関北九州道路建設促進協議会

開催日	会合名	内容
2022/05/11	第 1 回幹事会 (福岡市)	〈議題〉 ・ 2021 年度事業報告、収支決算報告 ・ 2022 年度事業計画、収支予算(案) ・ 役員改選(案) ・ 下関北九州道路早期実現に関する要望(案) 〈講演〉 演題：「関門地域の活性化に向けた基礎調査」 講師：㈱YMFZ ZONE プランニング 社長 藏重 嘉伸 氏
2022/07/31	下関北九州道路整備促進大会 (下関市)	〈主催団体〉 ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 中国経連、九経連、関門連携委員会 ・ 下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・ 下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 〈大会決議〉 1. 早期事業化に向け、国と 2 県 2 市が協力のもと、環境影響評価や都市計画課決定の手続きを進めること 2. PFI 等の活用など官民連携による効果的な整備手法の検討を促進すること 3. 地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
2022/07/31	2022 年度総会 (下関市)	〈議題〉 ・ 2021 年度事業報告、収支決算報告 ・ 2022 年度事業計画(案)、収支予算(案) ・ 役員改選(案) ・ 下関北九州道路早期実現に関する要望(案)
2022/08/24	下関北九州道路の早期実現に関する要望 (郵送)	〈要望団体〉 ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 関門連携委員会 〈要望先〉 国交省、財務省、自民党、公明党等
2022/08/31	下関北九州道路中央要望 (東京都)	〈要望団体〉 ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 中国経連、九経連、関門連携委員会 ・ 下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・ 下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 〈要望先〉 国交省、財務省、自民党、公明党
2023/02/20	下関北九州道路シンポジウム (北九州市)	〈主催団体〉 ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ (一社) 日本プロジェクト産業協議会 〈講演〉 演題①：「九州・山口の将来を支える交通ネットワークの強化」 講師：九州大学 工学部土木工学科 教授 塚原 健一 氏 演題②：「下関北九州道路が拓く兩岸の未来」 講師：JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会 下関北九州道路 WG リーダー 鹿島建設(株)常務執行役員 技術研究所長 利穂 良彦 氏 〈パネルディスカッション〉 コーディネーター： 九州大学 工学部土木工学科 教授 塚原 健一 氏 パネリスト： 山口県 土木建築部 審議監 秋友 隆二 氏 福岡県 県土整備部 道路建設課長 山口 甲秀 氏 JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会 下関北九州道路 WG メンバー パシフィックコンサルタンツ(株)執行役員 社会イノベーション事業本部長 下長 右二 氏 (一社) 下関青年会議所 理事長 田尾 繁太 氏 (一社) 海峽都市関門 DMO 代表 巖洞 秀樹 氏

九州経済国際化推進機構

開催日	会合名	内容
2022/04/27	2022年度 第1回幹事会 (福岡市)	<議題> ・2021年度事業報告、収支決算・監査報告 ・2022年度事業計画(案)、収支予算(案)
2022/05/13	2022年度総会 (書面開催)	<議題> ・2021年度事業報告、収支決算・監査報告 ・2022年度事業計画(案)、収支予算(案)
2022/11/02	2022年度 第2回幹事会 (オンライン形式)	<報告事項> ・2022年度事業の進捗・現状報告 ・2023年度事業に係るアンケート結果報告
アジア地域との経済・産業交流事業		
2022/09/14 ～09/17	九州・ベトナム経済交流ミッション 2023 事前協議 (ハトナム・ハノイ)	※国際委員会の項目を参照
2022/11/09 ～11/12	九州・タイヘルスクアミション 2023 事前協議 (タイ・バンコク)	※国際委員会の項目を参照
2022/11/25	第20回環黄海経済・技術交流会議(福岡市)	※国際委員会の項目を参照
2023/02/08 ～02/11	九州・タイヘルスクアミション 2023(タイ・バンコク)	※国際委員会の項目を参照
2023/03/06 ～03/09	九州・ベトナム経済交流ミッション 2023 (ハトナム・ハノイ)	※国際委員会の項目を参照
海外ビジネス・経済情報提供事業		
2022/8/10 ～03/17	海外展開支援施設説明会&無料相談会 (オンライン開催)	新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、全4回をオンライン形式にて開催
海外販路開拓支援事業		
2022/05/25 ～01/27	本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク会合 (オンライン開催)	蔵元の海外販路開拓に向けた取り組みを促進するため、「本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク」を発足し、オンライン定例会(3回)による会員間の情報共有等を実施
2023/2/26 ～3/3	「Kura Master」招聘事業 (沖縄県、鹿児島県および宮崎県)	<内容> フランスにおいて日本産酒類の普及・啓発に取り組む Kura Master (JARI市公認協会)と本格焼酎・泡盛の蔵元視察、また、九州の本格焼酎の蔵元等の関係者との意見交換および本格焼酎のテイステイング会を開催 <主催> 九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、(一社)九州経済連合会、熊本国税局、福岡国税局、宮崎県、鹿児島県、宮崎県酒造組合、鹿児島県酒造組合、九州本格焼酎協議会

福岡地域戦略推進協議会

開催日	会合名	内容
2022/04/21	第1回幹事会 (福岡市)	・2022年度事務局体制(案)について
2022/04/21	総会 (福岡市)	・2021年度事業報告、会計収支決算書 ・新部会の設置について ・2022年度事業計画、予算
2022/06/01	第2回幹事会 (書面開催)	・部会長の選任について(案)
2022/08/22	会員交流会 (福岡市)	・話題提供「デジタル時代のビジネスと都市の新しい像(かたち)」 ・会員相互交流(情報交換)
2022/09/21	第3回幹事会 (福岡市)	・2022年度事業計画の進捗(案) ・2022年度予算進捗状況(案) ・FDC会員への事務局出向等の依頼について(案)
2022/12/20	第4回幹事会 (福岡市)	・2020～22年度(第4期)の3か年の評価(案) ・都市創造部会からの追加予算申請について(案)

2023/03/22	第5回幹事会 (福岡市)	・2023～25年度の事業方針(案) ・2022年度事業報告(案)、会計収支決算書(案) ・2023年度事業計画(案)、予算(案) ・役員改選(案)
------------	-----------------	---

九州大学学術研究都市推進協議会

開催日	会合名	内容
2022/05/13	第1回企画・情報会議(福岡市)	<議題> ・2022年度第1回通常理事会議案書について ・KGIに関する実績(2021年度)集約結果 ・協議会構成団体等における取組状況・予定の集約結果について
2022/07/04	第2回企画・情報会議(福岡市)	<議題> ・2022年度国要望活動について
2022/08/02	国への要望活動 (東京都)	<要望書提出先> ・文部科学省、国土交通省
2022/10/13	第3回企画・情報会議(福岡市)	<議題> ・2022年度OPACK事業計画・予算について
2022/11/29	「九州大学学術研究都市」セミナー in 東京 2022(東京都)	<内容> ・関東地域を中心とした企業等を対象に、九大学研都市のまちづくりや大学等の研究活動を紹介するもの <講演次第> ・総合知による未来社会のデザイン(荒瀬副理事・副学長) ・完全養殖マサバと未来の海洋性タンパク質生産に向けた取組み(太田耕平准教授) ・昆虫科学・新産業創生研究センターにおける社会実装に向けた取組み(荒木啓亮助教) ・脳の疾患への免疫からのアプローチ(伊藤美菜子准教授) ・ウエルビーイングと人的資本(藤井秀道准教授) ・温室効果ガス排出量の算定方法論(早刈百合子准教授)
2023/01/26	第4回企画・情報会議(福岡市)	<議題> ・2022年度第2回通常理事会議案書について

ILC アジア-九州推進会議

開催日	会合名	内容
2021/06/21	先端加速器科学技術推進協議会 通常総会 (オンライン開催)	<報告> 2020年度事業報告の件 <議事> ・2020年度決算報告、監査報告 ・2021年度事業計画、予算 ・2021年度役員選任

九州エネルギー問題懇話会

開催日	会合名	内容
2023/03/02	常任幹事会 (福岡市)	<議題> ・2022年度事業報告・決算報告 ・2023年度事業計画・予算計画
2023/03/22	委員会 (福岡市)	<議題> ・2022年度事業報告・決算報告 ・2023年度事業計画・予算計画
2022/06/10	第1回エネルギー講演会 (オンライン開催)	<講演> 演題：激動する国際エネルギー情勢の展望と課題 講師：(一財)日本エネルギー経済研究所 専務理事 小山 堅 氏
2022/10/27	第2回エネルギー講演会 (福岡市)	<講演1> 演題：カーボンニュートラルにおける原子力の役割と次世代炉への期待 講師：東京工業大学 特任教授 奈良林 直 氏 <講演2> 演題：電力システムの安定供給の課題とカーボンニュートラルに向けたイノベーション 講師：(一財)電力中央研究所 研究アドバイザー 浅野 浩志 氏

2023/02/03	第3回エネルギー講演会 (オンライン開催・録画配信)	<講演> 演題：カーボンニュートラル達成に向けた水素利用の必要性と今後の展望 講師：九州大学 副学長 佐々木 一成 氏
2022/09/29	第1回会員企業見学会	<見学> ・九州電力(株)川内原子力発電所 ・日本地下石油備蓄(株)ちかび展示館
2022/12/08	第2回会員企業見学会	<見学> ・九州電力(株)川内原子力発電所 ・日本地下石油備蓄(株)ちかび展示館
2022/08/04	九州教職員ネットワーク 第1回意見交換会 (オンライン開催)	<講演> 演題：世界の情勢から日本のエネルギー問題を考える 講師：(株)ユニバーサルエネルギー研究所 社長 金田 武司 氏 <オリエンテーション> 演題：エネルギー環境教育の意義・あり方 講師：長崎大学教育学部教授 藤本 登 氏 <実践事例紹介> 発表：大分市立大在小学校 教諭 古澤 拓也 氏 福岡市立高宮中学校 教諭 吉岐 龍慎 氏 <グループ討議> テーマ：エネルギー・環境に関する授業の現状・課題 ファシリテーター： 長崎大学教育学部 教授 藤本 登 氏 福岡教育大学教育学部 教授 坂本 憲明 氏 長崎大学教育学部 准教授 土肥 大次郎 氏
2022/11/06	九州教職員ネットワーク 第2回意見交換会 (オンライン開催)	<グループ討議> テーマ：エネルギー環境教育実践状況の確認 ：現状を踏まえ、今後の実践上の課題と解決方法について意見交換 ファシリテーター： 長崎大学教育学部 教授 藤本 登 氏 福岡教育大学教育学部 教授 坂本 憲明 氏 長崎大学教育学部 准教授 土肥 大次郎 氏 福岡教育大学教育学部 准教授 石橋 直 氏
2022/06/08	第122回 エネルギー問題研究委員会 (福岡市)	<講演> 演題：革新炉の動向と開発動向 講師：九州大学大学院 教授 守田 幸路 氏
2022/10/04~05	第123回 エネルギー問題研究委員会 (北海道)	<視察> ・北海道石油共同備蓄(株)石油備蓄基地 ・日本 CCS 調査(株) 苫小牧 CCS 実証試験センター
2022/03/10	第124回 エネルギー問題研究委員会 (福岡市)	<講演> 演題：国連気候変動枠組条約第27回締約国会議(COP27)の結果と今後の方向性 講師：環境省 地球環境局 国際連携課 気候変動国際交渉室長 青竹 寛子 氏
2023/02/25~26	第58回エネルギー教育研究・企画会議 (福岡市)	・ 実践事例紹介 ・ エネルギー環境問題最新情報の提供
適宜	講演会 (九州各県)	<議題> ・ エネルギー・環境問題や放射線について 次世代層、経済団体等 23回 1,587名

九州・沖縄地方産業競争力協議会

開催日	会合名	内容
2022/07/14	第11回九州・沖縄地方産業競争力協議会 (福岡市)	<議題> ・ 九州・沖縄Earth 戦略II 各プロジェクトの進捗状況について ・ 九州発プロジェクトによる国の重点投資実行に向けて

九州・沖縄文化力推進会議

開催日	会合名	内容
2022/06/30	令和4年度九州・沖縄文化力推進会議幹事会	<議題> 令和3年度事業報告及び決算報告、令和4年度事業計画及び予算、令和5年度事業計画(案)、博物館等連携部会
2022/08/22	令和4年度九州・沖縄文化力推進会議(書面審議)	<議題> 令和3年度事業報告及び決算報告、令和4年度事業計画及び予算、令和5年度事業計画(案)、博物館等連携部会
2022/9/12	各県幹事との打合せ・意見交換会	<議題> 令和5年度事業計画と令和4・5年度の重点事業に対する各県の意見照会内容について <意見交換内容> ・デジタルを活用した九州各県との連携の取り組み ・各県からの意見照会で活動指標数値になりうる指標 ・各県幹事様からの要望事項 ・その他 観光分野と文化振興分野との関係について <各県幹事への依頼事項> ・デジタルを活用した各県との連携の取り組み ・今後の指標数値になりうる指標のご確認
2022/10/12~13	宮崎県と佐賀県の連携事業	宮崎県が運営・管理するSNS(Instagram)への佐賀県の文化活動情報の掲載実施 <内容> ・第5回佐賀県伝承芸能祭開催内容 ・日本の近代化を「建築」の世界から支えた唐津出身の建築家「辰野金吾」・「曾禰達蔵」・「村野藤吾」の3人に光をあてた特別展「建築の建築」を佐賀県立博物館で開催内容
2023/3/31	宮崎県と熊本県の連携事業	宮崎県が運営・管理する SNS(Instagram)への熊本県の文化活動情報の掲載実施 <内容> ・このミステリーがすごい！大賞作家 ×明治日本の産業革命遺産 コロボ小説公開！
-	発行物	ミュージアム周遊バス (20,000部)

九州DX推進コンソーシアム

開催日	会合名	内容
2022/4~2023/3	事務局会議	・ 定例会議 (月1回) ・ 各WGの活動状況報告等
2022/4~2023/3	WG活動	・ 人材育成WG ・ 地域オペレータWG ・ 社会課題(ウェルビーイング住宅・カーボンネイティブ) WG ・ 地域企業向けDX導入支援コンサル業WG ・ カーボンニュートラルWG ・ 九州ID・データ連携WG ・ DXフレームワーク作成術WG ・ デジタル防災・減災WG
2022/5~2023/3	経済産業省補助事業 (R4年度)	・ 交付申請準備 ・ 地域企業向けDX導入支援コンサルティングWGにて産学官金による九州DX推進コミュニティを形成 ・ 事業実施 (福岡・熊本・長崎地区) ・ 定例会議 (月1回)
2022/6/28	第1回総会	<議題> ・ コンソーシアムの活動報告 ・ WG活動プラン等年間活動計画
2023/2/7	九州DX推進シンポジウム	<次第> ・ 九州DX推進コンソーシアムの取組紹介 ・ 九州の各県・地域DX推進コミュニティの取組紹介 ・ デジタル田園都市国家構想応援団の取組紹介 ・ 同時開催：デジタル田園都市国家構想応援団ワークショップ

【記者会見】

2022/06/01	第 41 回九州地域戦略会議（宮崎市）
2022/06/07	第 62 回定時総会・創立 60 周年記念式典（福岡市）
2022/08/03	第 7 回九州・大学発ベンチャー振興実践会議（福岡市）
2022/08/22	環境省九州地方環境事務所と九経連との連携協定締結式（福岡市）
2022/09/20	第 171 回理事会・審議員合同会議（福岡市）
2022/10/17	西日本経済協議会第 64 回総会（松江市）
2022/10/27	第 42 回九州地域戦略会議（奄美市）
2023/02/21	第 7 回九州・大学発ベンチャー振興会議（福岡市）
2023/03/03	第 73 回九州経済懇談会（福岡市）
2023/03/22	第 172 回理事会（福岡市）

【会長コメント発信】

2022/05/23	G7 サミット広島開催決定
2022/07/09	安倍元総理のご逝去
2022/08/10	第 2 次岸田改造内閣発足
2022/08/30	ハウステンボスの売却

【プレスリリース（資料提供）】

2022/05/09	常勤役員等候補者の選任
2022/05/20	第 1 回九州 MaaS マッチング交流会の開催
2022/05/24	第 41 回九州地域戦略会議の開催
2022/06/03	国への要望について（農林水産委員会）
2022/06/07	下関北九州道路整備促進大会の開催
2022/06/27	第 1 回九州 DX 推進コンソーシアム総会の開催
2022/07/20	東九州軸推進機構第 32 回総会及び講演会の開催
2022/07/22	指宿市との包括連携協定の締結
2022/07/26	第 7 回九州・大学発ベンチャー振興実践会議及び共同記者会見の開催
2022/07/28	九州地域戦略会議「第 19 回夏季セミナー」の開催
2022/08/04	「九州 MaaS プロジェクト研究会」第 1 回研究会の開催
2022/08/17	2022 年度第 1 回熊本地域委員会の開催

2022/08/17	環境省九州地方環境事務所と九州経済連合会との連携協定締結式及び共同記者会見の開催
2022/08/24	2022 年度第 1 回鹿児島地域委員会の開催
2022/08/24	2022 年度第 1 回大分地域委員会の開催
2022/09/09	2022 年度第 1 回宮崎地域委員会の開催
2022/09/09	九州 MaaS シンポジウム 2022 の開催
2022/09/20	九州・沖縄・山口 ESG 投融資方針の策定
2022/09/22	2022 年度第 1 回佐賀地域委員会の開催
2022/09/28	2022 年度第 1 回長崎地域委員会の開催
2022/10/03	西日本経済協議会第 64 回総会及び代表者記者会見の開催
2022/10/17	西日本経済協議会第 64 回総会開催結果
2022/10/17	第 42 回九州地域戦略会議の開催
2022/11/07	西日本経済協議会による政府等への要望活動の実施
2022/11/08	(九州地区)地域脱炭素に向けた地方公共団体と企業のマッチングイベントの開催
2022/11/22	(沖縄地区)地域脱炭素に向けた地方公共団体と企業のマッチングイベントの開催
2023/02/01	九州 DX 推進シンポジウムの開催
2023/02/14	第 7 回九州・大学発ベンチャー振興会議の開催
2023/02/15	下関北九州道路シンポジウムの開催
2023/02/21	第 72 回九州経済懇談会の開催
2023/03/01	大分地域委員会「DX セミナー」の開催
2023/03/07	熊本・鹿児島合同地域委員会の開催
2023/03/16	宮崎地域委員会「女性活躍推進セミナー」の開催
2023/03/22	山口・北九州合同地域委員会の開催
2023/03/30	生産者支援の取り組み

【要覧等】

2022/07	九経連要覧
2022/06/29 2022/12/20	MOU インフォメーションレター“Information Letter to Our MOU Partners” 発行・発送（6 月、12 月）

【調査・研究・報告】

毎月	月報「あすの九州・山口」
----	--------------

2022/06	<p>フードアイランド九州推進宣言（共同宣言） （九州地域戦略会議）</p> <p>九州の農林水産業は、その産出額が全国の2割を占め、食料供給基地としての役割を担っているが、高齢化や担い手不足が進む中で、スマート農林水産業の取組を拡大することにより、生産の省力化、低コスト化、高品質な生産等を実現していくことが急務となっている。地域経済を支える重要な基幹産業として、更なる成長産業化を実現していくため、重点的な取組を進めることを宣言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 九州の農林水産業を支える多様な担い手の確保・育成 ○ スマート農林水産業の推進、知的財産の保護・活用、安心・安全な生産体制の強化 ○ 九州の強みを活かした輸出拡大
2022/06	<p>国の施策に関する要望 ～九州・山口地域における農林水産業の振興に向けて～</p> <p>新型コロナウイルス感染症影響下における農林水産業の事業基盤強化及び成長産業化、農林水産物・食品の輸出促進を中心に、農林水産省に対し、主に以下の項目を要望</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 (共通)新型コロナウイルス感染症影響下での事業継続支援 2 (農畜産業)輸出相手国への検疫条件改善、鳥インフルエンザ発生時の輸出禁止期間・範囲緩和 3 (林業)国産木材の利用促進と森林整備予算の安定的な財源確保 4 (水産業)養殖業の産業競争力強化
2022/08	<p>東九州地域の活性化推進に関する要望(東九州軸推進機構)</p> <p>東九州自動車道をはじめとする高速交通体系の整備及び南海トラフ巨大地震への備えとして防災・減災、国土強靱化のための社会資本の整備などを求め、以下の項目を要望</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 循環型高速交通網の整備拡充 <ol style="list-style-type: none"> 1.1 東九州自動車道の整備促進 1.2 九州中央自動車道(九州横断自動車道延岡線)の整備促進 1.3 高規格道路（地域高規格道路）の整備促進 2 交流・連携に不可欠な社会資本の整備 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 日豊本線の高速化促進 2.2 下関北九州道路の早期事業化 2.3 東九州新幹線の整備計画路線への格上げ 2.4 北九州空港の機能拡充 2.5 港湾機能の強化 3 産業振興・地域活性化の促進 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 地方拠点都市地域の整備促進 3.2 東九州地域における高度情報通信社会実現に向けた情報通信基盤の整備促進

2022/10	<p>誰もが輝く九州未来創造宣言（共同宣言） （九州地域戦略会議）</p> <p>「デジタル化の加速」や「集中から分散」などの社会変容の流れをしっかりと受け止め、デジタルの力を最大限活用することにより、直面する社会課題の解決を成長エンジンへと転換し、持続可能な地域社会を創造していくことが重要である。今後、国の施策とこれまでの九州創生の成果を十二分に活用しつつ、日本の未来像をこの地から実現していく決意をもって、先進的なモデルを構築するため、重点的な取組を進めることを宣言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルの力を最大限活用した社会課題の解決 ○ 九州広域でのデータ連携基盤の整備 ○ 九州を支える人材づくり
2022/11	<p>政府のエネルギー関連政策に関する要望</p> <p>I 資源・エネルギー・資材価格の安定、燃料・原材料調達の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 物価対策 <ul style="list-style-type: none"> ・急激な円安の抑制 ・資源・エネルギー・資材価格の安定 2 燃料・原材料調達の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の国内燃料相互融通制度創設の推進 ・政府によるLNG調達等の支援（関係諸国との連携強化） ・半導体関連部品等の安定調達 3 日本企業の国内回帰・サプライチェーン強靱化に対する政策援助の更なる拡充 <p>II（中長期）2050年カーボンニュートラルを見据えた未来への投資推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 エネルギー供給側の低炭素化・脱炭素化 <ol style="list-style-type: none"> ① 再生可能エネルギー： <ul style="list-style-type: none"> （太陽光） <ul style="list-style-type: none"> ・FIT 買取期間終了後の太陽光パネル大量廃棄に向けた施策対応 ・既設太陽光発電所でのパネルの貼り換えや増設への支援 ・PPA 関連事業の予算枠の拡充、複数年事業の採択 ・ソーラーカーポートや営農型太陽光の補助率拡大 （海洋、地熱） <ul style="list-style-type: none"> ・海洋エネルギー（洋上風力発電、潮流発電等） ・地熱等の産業化支援 （全般） <ul style="list-style-type: none"> ・送配電網の増強、蓄電池の普及推進

- ② 火力発電：
 - ・水素・アンモニア混焼、CO2 回収・利用・貯留技術の確立等への支援
- ③ 原子力発電：
 - ・原子力発電の最大限の活用に向けた取り組みの推進
(運転期間の延長、新增設・リプレースの推進、次世代原子炉の開発推進、人材育成、再処理・廃炉・最終処分への取組強化)
- ④ 水素・合成メタン等：
 - ・安価かつ大量供給を可能とする水素サプライチェーンの構築と大型水素製造施設の整備促進
 - ・「高圧ガス保安法」など工場内水素利用に係る関係法令の更なる規制緩和
 - ・合成メタン（メタネーション）や合成燃料（SAF 等）の開発・導入促進に向けたコスト支援

2 エネルギー需要側の低炭素化・脱炭素化

- ① 電化：全部門（産業、運輸、民生部門）における電化の促進とインセンティブ制度の拡充、「脱炭素電源を活用した電化先進モデル特区（仮称）」の創設
- ② 運輸・物流：
 - ・商用車・バス・トラック等の EV/FCV 化支援
 - ・環境負荷の低い貨物鉄道・船舶等の活用促進（モーダルシフト）

3 イノベーションの推進と社会実装

- ① 産学官地域連携によるイノベーションの推進：九州大学等を核とする産学官連携エネルギー研究開発拠点の形成に向けた政府予算の拡充
- ② 「カーボンニュートラルに向けた投資促進税制」の継続的な適用、措置の拡充（税額控除最大 20%、特別償却 60%への引き上げ）

4 ESG 投資の環境整備

- ① 「2050 年カーボンニュートラル」実現に向けて、ESG 地域金融の更なる普及・推進（政府系金融機関と地域金融機関等との協働等）
- ② カーボンニュートラルに取り組む企業への安定的な資金供給（トランジション・ファイナンスに係る環境整備）

2022/11

創造と変革による活力に溢れた地域の創生～新たな時代を西日本から切り拓く～（西日本経済協議会）

- I 資源・物資の安定的な確保等に向けた取り組みの推進
- II 創造と変革による活力に溢れた地域の創生に向けて
 - 1 イノベーションによる成長産業の創出
 - 2 カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの推進
 - 3 地方の魅力向上と分散型社会実現の推進
 - 4 広域連携と国土強靱化に向けた社会基盤整備

2023 年度 事業計画

I. 基本的考え方	1
II. 計画の概要	4
III. 具体的取り組み・K P I	6
IV. 理事会・総会等の主要スケジュール	12
(付1) 活動一覧（委員会、戦略会議、懇談会、事務局）	13
(付2) 関連団体	16

1 対処すべき課題

<国内>

3年に亘るコロナ禍は、観光や飲食、移動を伴うビジネスをはじめ様々な分野に深刻な影響をもたらしたが、「5類」への引き下げにより、感染者・濃厚接触者の就労制限の軽減やサービス消費の改善等、ようやく日常回復への出口が見えてきた。

一方で、ロシアによるウクライナ侵略は今なお収束の兆しが見えず、原材料・エネルギー価格の高騰や物価上昇が、国民生活や企業経営に甚大な影響を及ぼしている。経済活動を再開する中で人手不足が深刻化し、地域の事業者にとって何重もの打撃による厳しい状況が続いている。

<九州>

九州では、上記のような足もとの難局を乗り越えるだけでなく、全国を上回る人口減少と高齢化、産業構造の大きな変化、頻発する豪雨災害など多くの問題への対応に迫られている。また、全国水準を下回る労働生産性や社会全体のダイバーシティに対する意識の乏しさ、デジタル対応の遅れなどの弱みもあり、これらを克服し、SDGsの理念のもと持続的に成長し豊かで幸せな地域を築いていくためには、九州のポテンシャルを活かして、大きな時代の潮流を捉え、変化をチャンスに変えていくことが重要である。

2023年度は、「九州将来ビジョン2030」実現に向けた第1期中期計画の最終年度として、デジタル田園都市国家構想など国のビジョンを九州から実践する気概をもって、九州から改革・イノベーションのモデルを全国へ示すことができるよう活動を展開していく。

【九州将来ビジョン2030】

ビジョン実現に向けた10の課題

1. 日本を動かす
リーディング産業の育成・誘致
2. カーボンニュートラルを
先導するエネルギー環境の整備
3. 生産性向上を生み出す
九州イノベーションエコシステムの構築
4. 地理的優位性を活かした
アジアとのシームレス化
5. 新たな時代の人材育成
6. 暮らしやすさ（Quality of Life）と
新たな価値の創出
7. 共助社会を実現するダイバーシティ・
インクルージョンコミュニティ形成
8. 「成長エンジン」と「幸せコミュニティ」
を支えるインフラ整備
9. 分散型社会の一翼を担う
自立型広域経済圏モデルの構築
10. 安心安全を確保する
防災レジリエンス・バックアップ機能強化

共生・共感・共創 アイランド九州

～成長と心の豊かさをともに～

共生と共感によって、成長と心の豊かさが相互に好影響を与え合い、新たな価値を共創する持続可能な地域を目指します。



2 取り組み方針

<第1期中期計画（2021～2023年度）>

九州将来ビジョンで、2030年の“九州のありたい姿”に掲げる、「Ⅰ. 成長エンジン」「Ⅱ. 幸せコミュニティ」「Ⅲ. 自立型広域連携アイランド」の実現に向けて、原則3年ごとに中期計画を策定して、3ステップで取り組んでいる。

2021年度からの第1期中期計画では、幸せコミュニティづくりへの指標公表(2022.6月)、九州の特性を重視した九州・沖縄・山口 ESG 投融資方針 (2022.9月) や九州 MaaS 実装へのグランドデザイン案 (2023.3月) の策定など、着実に前進している。

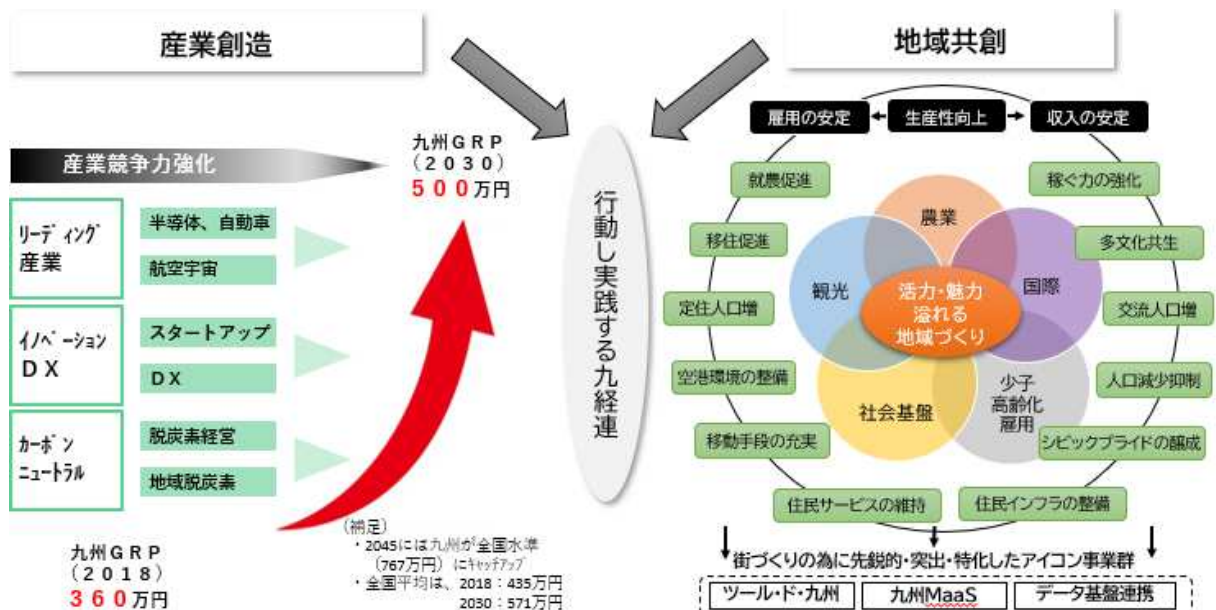


<2023年度事業方針>

2023年度は、戦略遂行への活動を一層強化し、中期計画最終年度の総仕上げとしてさらなる成果に結びつけていく。

最優先課題は、コロナ禍や物価高騰に伴う負担増で苦境にある企業の事業継続に資する取り組みである。地域や企業の声を集め、必要な施策を政府などへ訴えていく。

さらに、コロナ後の未来を切り拓くため、イノベーションの力で新たな成長を生み出す「産業創造」の取り組みをさらに深掘りするとともに、特に、地域に根差した魅力ある九経連活動を強化し、〔農業/観光/雇用/社会基盤/国際〕の掛け合わせによって、個々の領域の課題解決と地域の発展を同時に実現していくための「地域共創」による実践的な活動を展開していく。



<参考> 2022 年度事業の振り返り

【中期戦略Ⅰ】地域共創 with コロナ

コロナ対応	地域経済 V 字回復 6月 総会記者会見にて公表「業務中のマスク着用緩和」について 8月 PCR 検査等で参加者 200 名の陰性確認のうえ、3 年ぶりの「夏季セミナー」開催（沖縄）
--------------	--

【中期戦略Ⅱ】ありたい姿に向けたチャレンジ

高い付加価値を生み出す「産業」の創出

リーディング産業	戦略産業の育成・誘致 5-8 月 各県との産業戦略・政策の意見交換 7月 九航会 総会にて、第 3 次アクションプランを展開した事業計画を承認・始動 3月 委員会にて JASM、ソニーセミコンダクタ講演・交流 通期：九経連会員と連携した「九州半導体人材育成等コンソーシアム（事務局：九州経産局）」の活動支援
イノベーション DX	イノベーション・エコシステム構築 <スタートアップへの成長支援> 8月 九州・大学発ベンチャー振興実践会議にて、13 大学 24 シーズ、11 社 22 ニーズ提出（ギャップ資金確保） 通期：オール九州ベンチャー支援の見える化による「九州広域連携強化策」に関する検討を実施 <地域企業への DX 支援> 5月 経済産業省補助事業の採択決定 18,000 千円（～3 月 地域企業向け DX 導入の伴走支援 5 社） 6月 「九州 DX 推進コンソーシアム」総会にて、8 つのワーキンググループを発足 7-12 月 ICT 人材インターンシップ実施（9 企業 10 テーマに、6 大学 21 名の学生が参加）
カーボンニュートラル	需要側を含めた環境先進モデル構築 8月 環境省九州事務所との連携協定締結 地域脱炭素の実現に向けた地方公共団体と企業のマッチングイベント実施（11 月福岡、12 月沖縄） 9月 地域ブロック単位で全国初となる「九州・沖縄・山口 ESG 投融資方針」を策定 1月 投融資方針の推進組織「ESG 地域金融官民連携プラットフォーム」を設立

魅力・活力溢れる「地域」の創出

人を惹きつける	新たな観光資源創出 4月 九州・長崎 IR) 国へ「区域整備計画」を申請 9月 ツール・ド・九州) 国際自転車競技連合 (UCI) 認定による「クラス 1」での開催が決定
	農林水産業活性化共創モデル 7月 農業生産者と企業援農者を結ぶプラットフォーム選定（～3 月 試行・実効性確認） 7月 「モビル研究会」の実効性向上への運営方針策定（サプライチェーン構築を中心に据える） 7-9 月 海外販路拡大商談会（イオンマレーシア・カンボジア、中国輸入博運営委託先、台湾大潤發 等） 9月 三者連携協定（九経連、農林中央金庫、全農福岡県本部）を活用した、新規販路拡大の調査を実施
	観光を軸にした地域プロデュース 7月 指宿市との協定締結（連携事項：地域産品の開発、まちづくり、地域交通の課題解決など） 10 月 農家の人手不足・関係人口増に向けた「SDGs 農活」着手（福岡県うきは市）
共助社会	「幸せコミュニティ」づくり 6月 九経連総会・60 周年式典にて「幸せコミュニティ指標」を公表 11 月 「企業版ジェンダーギャップ指数」の会員調査を実施

【中期戦略Ⅲ】みらいへの投資(基盤整備)

データ駆動型社会	スマートリージョン構想の具現化 8月 戦略会議・夏季セミナーにて「デジタルを最大限活用した広域連携」の必要性を議論 10 月 第 42 回九州地域戦略会議で「広域データ連携基盤」の整備推進を決議 3月 官民による「広域データ連携プラットフォーム検討準備会」を発足
インフラネットワーク	九州 MaaS 構築 6月 九州地域戦略会議「九州観光再生や生活者の利便性向上に資する九州 MaaS 構築」を提案 8月 官民 41 機関による「九州 MaaS プロジェクト研究会」を発足 3月 「九州 MaaS グランドデザイン(案)」策定
海外展開プラットフォーム	アジアとの繋がりの強化 2月 タイ・ヘルスケアミッション派遣 3月 「九州プロモーションセンター in ハノイ」グランドオープン（ミッション派遣・食の商談会の実施）

II

計画の概要

第1期中期計画の基本方針「九州から日本を動かす」新たな価値の創出のもと、【3つの中期戦略】を柱として、2023年度事業方針である「産業創造」と「地域共創」により、活動の方向性と目標を明確にした。

【戦略Ⅰ】 地域共創 with コロナ

経済対策

経済的苦境にある地域企業の事業継続に向けた支援

- 会員向けメッセージや、国・自治体への要請を機動的に発信
 - ・経済活動の根幹である人・モノの交流活性化に最優先で取り組む
 - ・物価高騰に伴う負担増やコロナ禍克服への対応について、必要な施策を政府等へ要請

【戦略Ⅱ】 ありたい姿に向けたチャレンジ

<産業創造>

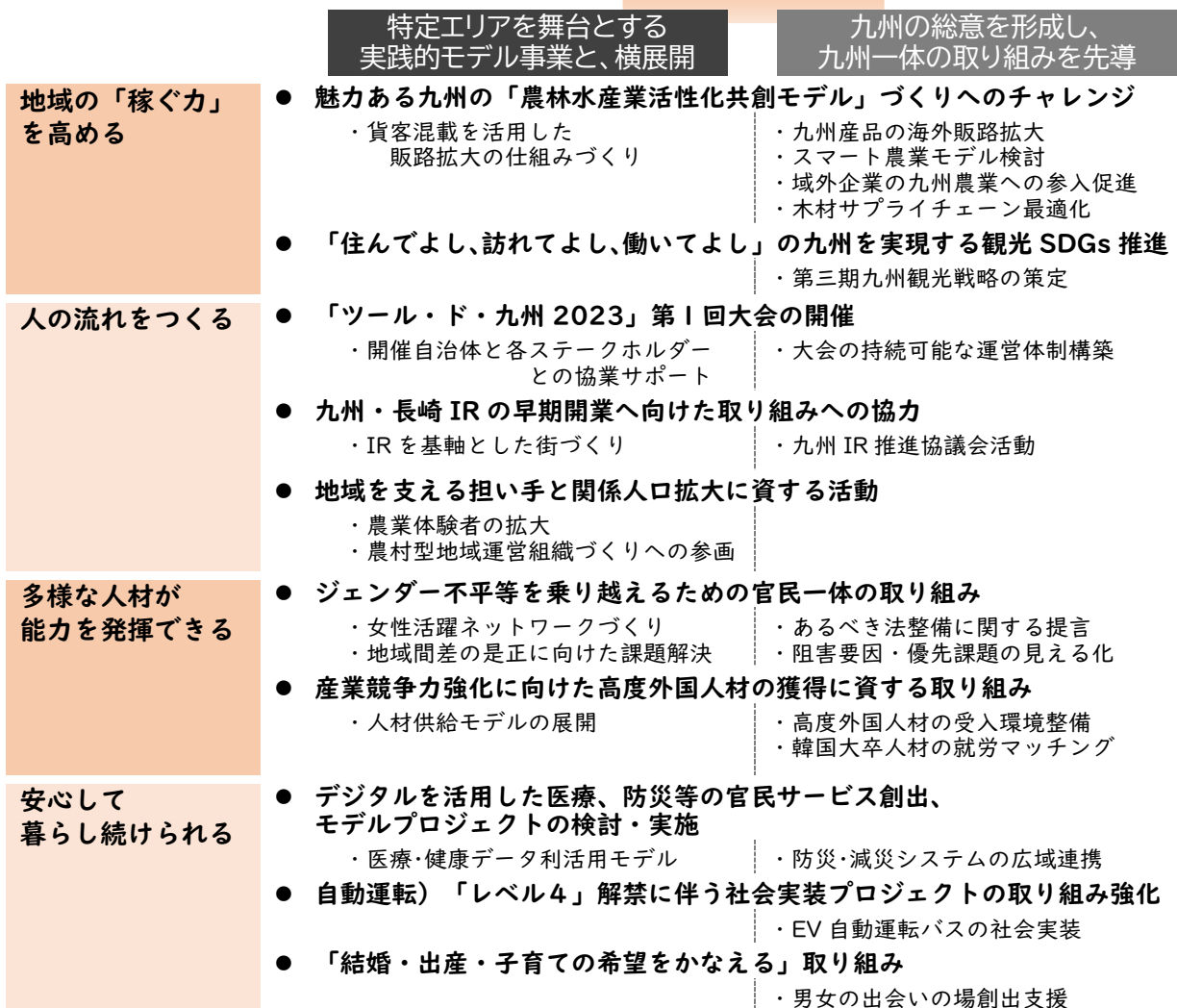
高い付加価値を生み出す産業の創出（新たな時代の成長エンジン）

2030年の1人当たりGRP『500万円』を目指す

リーディング産業	半導体産業基盤の強化に向けたオール九州での戦略展開 航空宇宙産業の市場創出・拡大	<ul style="list-style-type: none">● オール九州の観点からの課題解決・規模拡大の戦略展開策の策定● 半導体サプライチェーン強靱化に資する取り組み● 九航協・第3次アクションプランの遂行
イノベーションDX	切れ目のないスタートアップ支援体制の構築 九州が一体となったDXの実践	<ul style="list-style-type: none">● ベンチャー成長段階別の切れ目のない支援プログラムの拡充・体制強化● 各大学の強み・シーズを活用した地域の課題解決に資する活動強化● 九州各地のDX実践・成功事例を共有するためのネットワーク構築● 地域企業向けDX導入コンサル事業の継続と、展開の仕組みづくり● 地域企業の人材確保に資する「ICT人材インターンシップ事業」の広域展開
カーボンニュートラル	地域企業の脱炭素経営の推進 官民連携による地域脱炭素の推進	<ul style="list-style-type: none">● 「九州・沖縄・山口 ESG 投融資方針」に基づく具体的プロジェクトの推進● 「CN推進研究会」による脱炭素技術の社会実装に向けた具体策の検討● 環境省九州地方環境事務所との連携による「脱炭素先行地域」組成支援

<地域共創>

魅力・活力溢れる地域の創造（幸せコミュニティ指標の向上）
 多様な人々が幸せを感じながら活躍できる持続可能な地域づくりを目指す



【戦略Ⅲ】 未来への投資(基盤整備)

データ 駆動型社会	「スマートリージョン構想」 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 九州全体での官民データの収集・分析・活用を促す「九州広域データ連携プラットフォーム」構築 ● デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施
インフラ ネットワーク	地域公共交通ネットワークの 維持及び観光活性化に資する 「九州 MaaS」実装	<ul style="list-style-type: none"> ● 九州 MaaS 運営主体設立準備会の発足と、実装に向けた検討・準備 ● データ利活用) 将来的な九州 MaaS データ連携基盤構築に向けた PoC 開始 ● 自動運転) 「レベル4」解禁に伴う社会実装プロジェクトの取り組み強化
海外展開 プラットフォーム	広域連携を活かしたアジアと の繋がりの強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 「九州プロモーションセンターin ハノイ (KPC)」を中核としたアセアン戦略の構築・実践 ● オール九州の官民による海外ミッション派遣

(1) 経済的苦境にある地域企業の事業継続に向けた支援

〔事務局〕

① 会員向けメッセージや、国・自治体への要請を機動的に発信

- ・ 「コロナ禍での九経連行動指針」に類するメッセージを発信し、経済活動の根幹である人・モノの交流活性化に最優先で取り組む
- ・ 物価高騰に伴う負担増やコロナ禍克服への対応について、会員・各地域の声を集め、国・自治体への要請を機動的に行う

(2) 半導体産業基盤の強化に向けたオール九州での戦略展開

〔産業振興・デジタル推進委員会〕

① オール九州の観点からの課題解決・規模拡大の戦略展開策の策定

- ・ 半導体協議体を有する九州各県（熊本、福岡、大分、長崎、佐賀）との協議による、「九州半導体産業推進戦略（展開策）」の策定、及び国などへの働きかけ（例：次世代半導体研究開発拠点・生産拠点の誘致など）

【KPI】 戦略展開策の策定

② 半導体サプライチェーン強靱化に資する取り組み

- ・ 九州半導体人材育成等コンソーシアム（事務局：九州経済産業局）との連携による、大手企業と地場企業とのマッチング・台湾等との産業間交流の取り組みへの協力

(3) 航空宇宙産業の市場創出・拡大

〔九州航空宇宙開発推進協議会〕

① 九航協・第3次アクションプラン（2022.7月策定）の遂行

- ・ 航空分野）九州各県が協力した航空機産業振興の促進のため、新たなプラットフォーム「九航協航空産業連絡会議」確立と、企業間広域連携に資する活動の本格化

【KPI】 航空機産業川下企業（1社）との新規関係構築

- ・ 宇宙分野）人工衛星・ロケット・部品等事業機会創出による宇宙開発拠点の形成のため、「九州宇宙開発ビジネス交流会」を通じた九州各地での情報・交流の場の提供

(4) 切れ目のないスタートアップ支援体制の構築

〔産業振興・デジタル推進委員会、地域共創委員会〕

① ベンチャー成長段階別の切れ目のない支援プログラムの拡充・体制強化

- ・ 持続性のあるスタートアップ支援のための新たな体制構築（九州スタートアップ・エコシステム事務局会議*）と、オール九州としての課題抽出・改善策の実行

* 構成予定機関：J-Startup KYUSHU（九州経済産業局）、KVM（九州・沖縄・山口9県）

PARKS（九州内15大学・自治体・経済界）、九州・大学発ベンチャー振興会議等

【KPI】 九州版「スタートアップ5ヵ年計画」の策定

② 各大学の強み・シーズを活用した地域の課題解決に資する活動強化 (オープンイノベーション加速)

- ・ 地域課題の解決に取り組む九州各地域の企業・大学・自治体等のニーズ/シーズの情報共有・発信・展開（九州・大学発ベンチャー振興会議など）
- ・ 九州・大学発ベンチャー振興会議、PARKS が提供するギャップ資金、起業家教育強化によるスタートアップ創出加速
【KPI】 ギャップ資金提供 61,000 千円（2022 年度 52,000 千円）
- ・ オープンイノベーションマッチングイベント（九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテストなど）の実施・運営に対する支援

(5) 九州が一体となった DX の実践

〔産業振興・デジタル推進委員会〕

① 九州各地の DX 実践・成功事例を共有するためのネットワーク構築

- ・ 「九州 DX 推進コンソーシアム」における地域課題解決の実証事業の九州広域展開、及び各地域 DX コミュニティとの知見・ノウハウの共有を図るための仕組み検討
(九州地域戦略会議「新技術挑戦 PT」との協働)
【KPI】九州 DX 推進コンソーシアム会員に九州 7 県の企業・自治体が参画

② 地域企業向け DX 導入コンサル事業の継続と、展開の仕組みづくり

- ・ DX 支援事業者（地域金融機関、IT ベンダー等）の DX 支援人材の育成やスキル向上による、地域企業のデジタル化・IT 活用の伴走型支援事業の九州広域展開
(2022 年度経済産業省補助事業「地域 DX 促進活動支援事業」の継続・発展、九州地域戦略会議「しごとづくり PT」との協働)
【KPI】支援事業者育成 50 者及び DX 伴走支援企業 10 社
- ・ DX に必要不可欠なセキュリティにおいて、地域企業のセキュリティレベル向上に向けた支援事業（セミナー等）の実施

③ 地域企業の人材確保に資する「ICT 人材インターンシップ事業」の広域展開

- ・ ICT 人材インターンシップ事業の九州全域への展開（企業・受講学生）、及び事業スキームの汎用性を高め、情報サービス産業協会等との連携による実施体制の確立
【KPI】現行実施地域の拡大（最低 1 地域）

(6) 地域企業の脱炭素経営の推進

〔資源エネルギー・環境委員会〕

① 「九州・沖縄・山口 ESG 投融資方針」（2022.9 月策定）に基づく 具体的プロジェクトの推進

- ・ 「九州・沖縄・山口 ESG 投融資推進会議」による、クリーンエネルギー投資や自然資本投資の検討・実施
【KPI】広域連携プロジェクト組成（1 件）

② 「CN 推進研究会」による脱炭素技術の社会実装に向けた具体策の検討

- ・ 複数事業所間の連携によるエネルギーの効率的利用（九州の工業団地のグリーン化・脱炭素化に資する電力・蒸気・熱融通システムの導入可能性調査、及び関係機関との調整）
- ・ 中小企業の CN 実現に向けた具体的支援（省エネルギーセンターや九州脱炭素化研究会等との連携による CN 取り組み支援策の提供）

(7) 官民連携による地域脱炭素の推進

〔資源エネルギー・環境委員会、地域共創委員会〕

① 環境省九州地方環境事務所との連携による「脱炭素先行地域」組成支援

- ・ 地域脱炭素に取り組む地元自治体×脱炭素技術を有する会員企業の伴走型マッチング支援事業の九州各地での展開
【KPI】 脱炭素先行地域の組成（1件）

(8) 地域の「稼ぐ力」を高める

〔地域共創委員会〕

① 魅力ある九州の「農林水産業活性化共創モデル」づくりへのチャレンジ

- ・ 「九州の食輸出協議会」を受け皿にした地元食品等産業の販路拡大に向けた伴走支援
【KPI】 海外販路拡大支援 20件
- ・ 中山間地域の営農に即したスマート農業の推進に向け、生産者メリットを見える化したモデル（導入効果シミュレーション等）の検討・提案
【KPI】 県へのスマート農業モデル提案
- ・ 域外企業の九州農業への参入促進に向けた取り組み強化（経団連共催事業）
【KPI】 マッチング事例の創出
- ・ 九経連のリソースを活用した木材サプライチェーン最適化への取り組み強化

〔特定地域での実践活動〕

- ・ 貨客混載による流通経路の最適化など生産者の販路拡大に資する仕組みづくりの強化
【KPI】 具体事例の創出

② 「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」の九州を実現する観光 SDGs の推進

- ・ 九州観光戦略委員会（九州各県・経済団体・民間事業者、DMO）にて、第三期観光戦略（2024-2030）・アクションプランの策定
【KPI】 次期観光戦略の策定・各県合意（九州地域戦略会議）

(9) 人の流れをつくる

〔地域共創委員会、産業振興・デジタル推進委員会〕

① 「ツール・ド・九州 2023」第1回大会の開催

- ・ 第1回大会（10/6～9）の実施・成功に向けた（一社）ツール・ド・九州の活動支援、及び持続可能な国際サイクルレース開催のための運営体制整備

〔特定地域での実践活動〕

- ・ 関係人口創出、若者の地方への還流・定着に向けた、開催エリアにおけるツール・ド・九州をフックとした地元自治体と各ステークホルダーとの協業サポート

【KPI】 各ステークホルダーとのマッチング×3エリア

② 九州・長崎 IR の早期開業へ向けた取り組みへの協力

* 国による「IR 区域整備計画」認定後、取り組み開始

- ・ 九州 IR 推進協議会活動を通じた地元調達率向上を目的としたビジネスマッチング、及び観光基盤づくり

〔特定地域での実践活動〕

- ・ IR を基軸とした街づくりに関する意見発信、及び事業着手に向けた地元自治体への働きかけ

③ 地域を支える担い手と関係人口拡大に資する活動

〔特定地域での実践活動〕

- ・ 「地域農業を地域企業で支える仕組み」を基点に、農業体験者の拡大に資する取り組み（援農マッチングアプリ活用、企業研修への農業カリキュラム導入等）、及び持続的な関係人口創出のための「組織対組織」（自治体・企業等）による連携スキームづくり
【KPI】 担い手・関係人口拡大事例の創出
- ・ 中山間地域における農村型地域運営組織づくりへの参画を通じた、地域課題解決への取り組み

(10) 多様な人材が能力を発揮できる

〔地域共創委員会〕

① ジェンダー不平等を乗り越えるための官民一体の取り組み

- ・ 企業の海外取引や人材獲得に資する、雇用におけるジェンダー平等推進のためのあるべき法整備に関する提言（参考：国連「WEPs」/女性のエンパワメント7原則）
【KPI】 提言とりまとめ
- ・ ジェンダーギャップ指数（KGGI・EGGI）に基づく阻害要因・優先課題の見える化、及び課題解決へのオール九州での議論・機運醸成（九州地域戦略会議・夏季セミナー）
【KPI】 EGGI 観測協力企業数 会員の50%（従業員101人以上の企業）

〔特定地域での実践活動〕

- ・ 女性活躍推進のための施策間連携・地域間連携（都市部企業と地方企業との女性管理職ネットワーク構築等）による、九州一体での女性活躍連携ネットワーク作り
（女性管理職ネットワーク「WE-Net 福岡」とのアライアンス）
- ・ 自治体「女性活躍推進宣言」をもとにモデル地域を選定し、ジェンダーギャップ指数の地域間差の是正に向けた、課題抽出・改善策の実行
【KPI】 「女性活躍推進宣言」企業数 対前年15%増

② 産業競争力強化に向けた高度外国人材の獲得に資する取り組み

- ・ 高度外国人材が安心して働き生活していくための受入環境整備に関する検討、及び自治体による支援を後押しする取り組み
- ・ 韓国「全国経済人連合会」と共同し、日本語教育を受講した韓国大卒人材と九州企業とのマッチングによる就労支援の取り組み

〔特定地域での実践活動〕

- ・ 地域企業の現状・人材ニーズの把握、及び人材供給モデルのアジア諸国への展開

(11) 安心して暮らし続けられる

〔地域共創委員会、交通委員会〕

① デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施

- ・ 健康寿命の延伸や医療費低減、企業の健康経営推進に向けて、医療・健康のデータ連携による新たなヘルスケアサービスを開発・提供するためのモデル事業の可能性調査
【KPI】 パイロットプロジェクトの企画・立案（2024年度実施へ）

※「防災」に関する具体的取り組み：(12)「スマートリージョン構想」の推進“②”に記載

② 自動運転)「レベル4」解禁に伴う社会実装プロジェクトの取り組み強化

※具体的取り組み：(12)「九州 MaaS 実装」“③”に記載

③ 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組み

- ・ 男女の出会いの場創出に向けて、各地域の九経連会員企業に対する「Aill（専用マッチングアプリ）」導入推進、及び九州地域戦略会議「次世代育成 PT」の活動支援
【KPI】「Aill」導入企業 30 社

(12) 「スマートリージョン構想」の推進

〔産業振興・デジタル推進委員会、地域共創委員会〕

① 九州全体での官民データの収集・分析・活用を促す
「九州広域データ連携プラットフォーム（仮称）」構築

- ・ 新たな官民検討会を設置し、ユースケースを実現するための広域連携によるデータ連携基盤のあり方・構築に関する課題整理、及び基盤構築の方針策定
【KPI】「広域データ連携プラットフォーム構築方針」策定・各県合意
- ・ パーソナルデータの利活用による実効性の高いサービスを提供するためのデジタル認証の仕組み・個人情報の取扱い等に関する課題整理、及び基本方針の策定
【KPI】「デジタル認証の基本方針」の策定・各県合意

② デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、
モデルプロジェクトの検討・実施

- ・ 災害対応の広域化・迅速化・高度化を図るため、自治体や企業が持つ防災・減災システムにおけるデータ連携のユースケース検討、及び具体的な課題解決提案の実施
【KPI】パイロットプロジェクトの企画・立案（2024 年度実施へ）



(13) 地域公共交通ネットワークの維持及び観光活性化に資する「九州 MaaS」実装

〔交通委員会〕

① 九州 MaaS 運営主体設立準備会の発足と、実装に向けた検討・準備

- ・ グランドデザインに基づく、九州 MaaS の 2024 年内サービススタートに向け、関係機関調整及び運営主体の財源明確化、事業計画策定

【KPI】九州地域戦略会議にてグランドデザイン承認（5月）
協議会設立計画の承認（10月）

② データ利活用）将来的な九州 MaaS データ連携基盤構築に向けた PoC 開始

- ・ データ利活用による政策立案や新サービス創出に向けた基盤構築へ段階的に取り組み強化

③ 自動運転）「レベル4」解禁に伴う社会実装プロジェクトの取り組み強化

- ・ 九州域内課題である「過疎地域の公共交通ネットワーク維持」に向けた EV 自動運転バスの社会実装の検討・実施

(14) 広域連携を活かしたアジアとの繋がり強化

〔事務局〕

① 「九州プロモーションセンターin ハノイ（KPC）」を中核としたアセアン戦略の構築・実践

- ・ KPC の活用拡大）ベトナム進出・ベトナム人材確保・観光 PR 等をテーマにしたウェビナーやイベントの実施
- ・ KPC の機能強化）会員企業やミッション参加企業等の海外進出ニーズを踏まえた、双方向の交流拡大に向けた KPC の機能強化策に関する検討・展開

② オール九州の官民による海外ミッション派遣

- ・ 台湾：「ツール・ド・九州」に関する台北での広報活動・インバウンド誘致
- ・ 九州経済国際化推進機構による派遣（ベトナム：九州の食、タイ：ヘルスケア産業）

(15) 「九州将来ビジョン 2030」フォローアップ

〔事務局〕

① 「幸せコミュニティ」指標の進捗評価・検証

- ・ 第 1 期中期計画の最終年度として、「幸せコミュニティ」の主観・客観の両指標の進捗状況の公表と、その要因の検証

② 第 2 期中期計画の策定

- ・ 「九州将来ビジョン 2030」実現に向けた、2024 年度から 2026 年度までの 3 カ年をターゲットとする第 2 期中期計画の策定・公表

IV 理事会・総会等の主要スケジュール

2023年

5月	役員選考委員会・第173回理事会（12日、福岡市） 第43回九州地域戦略会議（沖縄県）
6月	第63回定時総会・第174回理事会（6日、福岡市）
8月	九州地域戦略会議・夏季セミナー（3～4日、大分県）
9月	第175回理事会、理事・審議員合同会議（福岡市）
10月	西日本経済協議会 総会（17日、石川県金沢市） 及び要望活動（11月8日、東京） 第44回九州地域戦略会議（佐賀県）
12月	顧問会

2024年

2月	正副会長・委員長会議（福岡市）
3月	九州経済懇談会（経団連との意見交換会）（4日、福岡市） 第176回理事会（福岡市）

1. 委員会

(1) 資源エネルギー・環境委員会

持続可能な世界屈指のクリーンエネルギー九州を実現するため、九経連の5つのエネルギー戦略をもとに、再生可能エネルギーの有効活用やそれに資する資金調達などの体制を整備し、需要側を含めた環境先進モデルを構築して経済成長に寄与する。

■地域企業の脱炭素経営の推進

- ① 「九州・沖縄・山口 ESG 投融資方針」に基づく具体的プロジェクトの推進
- ② 「CN 推進研究会」による脱炭素技術の社会実装に向けた具体策の検討

■官民連携による地域脱炭素の推進

- ① 環境省九州地方環境事務所との連携による「脱炭素先行地域」組成支援

(2) 産業振興・デジタル推進委員会

「九州将来ビジョン」の実現に向け、デジタル・グリーンを機軸に、産学官連携・地域連携によるイノベーションを通じて、九州における戦略産業の育成・振興、および持続的な成長実現、生産性向上ならびに地域課題解決・エコシステム構築を目指す。

■半導体産業基盤の強化に向けたオール九州での戦略展開

- ① オール九州の観点からの課題解決・規模拡大の戦略展開策の策定
- ② 半導体サプライチェーン強靱化に資する取り組み

■航空宇宙産業の市場創出・拡大

- ① 九航協・第3次アクションプランの遂行（九航協航空産業連絡会議、宇宙開発ビジネス交流会等）

■切れ目のないスタートアップ支援体制の構築

- ① ベンチャー成長段階別の切れ目のない支援プログラムの拡充・体制強化
- ② 各大学の強み・シーズを活用した地域の課題解決に資する活動強化

■九州が一体となった DX の実践

- ① 九州各地の DX 実践・成功事例を共有するためのネットワーク構築
- ② 地域企業向け DX 導入コンサル事業の継続と、展開の仕組みづくり
- ③ 地域企業の人材確保に資する「ICT 人材インターンシップ事業」の広域展開

■「スマートリージョン構想」の推進

- ① 九州全体での官民データの収集・分析・活用を促す「九州広域データ連携プラットフォーム（仮称）」構築

(3) 地域共創委員会

地域の社会課題解決と魅力向上による「地方創生」に重点を置き、特定エリアを舞台とする実践的モデル事業と、九州の総意形成による九州一体の取り組みの両輪で事業を展開し、多様な人々が幸せを感じながら活躍できる、持続可能な地域づくりを目指す。

※2023年4月1日発足。従来の4つの委員会（観光、農林水産、行財政、ダイバーシティ「幸せコミュニティ」推進）を統合し、それぞれの所管テーマに対し、一体的に取り組む。

■地域の「稼ぐ力」を高める

- ① 魅力ある九州の「農林水産業活性化共創モデル」づくりへのチャレンジ
- ② 「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」の九州を実現する観光 SDGs の推進

■人の流れをつくる

- ① 「ツール・ド・九州 2023」第1回大会の開催
- ② 九州・長崎 IR の早期開業へ向けた取り組みへの協力
- ③ 地域の担い手と関係人口拡大に資する活動

■多様な人材が能力を発揮できる

- ① ジェンダー不平等を乗り越えるための官民一体の取り組み
- ② 産業競争力強化に向けた高度外国人材の獲得に資する取り組み

■安心して暮らし続けられる

- ① デジタルを活用した医療、防災等の官民サービス創出、モデルプロジェクトの検討・実施（「スマートリージョン構想」の推進）
- ② 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組み

(4) 交通委員会

九州の一体的な発展を目指すため、「アジアに近い九州」という強みを活かし、観光・産業振興、アジアのゲートウェイとしての空港・港湾機能の向上、循環型高速交通網及び地域公共交通網の整備等を推進する。

■地域交通ネットワークの維持及び観光活性化に資する「九州 MaaS」実装

- ① 九州 MaaS 運営主体設立準備会の発足と実装に向けた検討・準備
- ② データ利活用) 将来的な九州 MaaS データ連携基盤構築に向けた PoC 開始
- ③ 自動運転) 「レベル4」解禁に伴う社会実装プロジェクトの取り組み強化

■域内交通基盤の着実な整備

- ① 東九州自動車道、下関北九州道路等、九州域内道路網に関する効果的な大会・要望活動

(5) 関門連携委員会

九州と本州の連携を強化し、関門地域の一体的発展を図るため、地域振興における発展戦略について調査・検討を進めるとともに、下関北九州道路の早期実現に向けた整備促進大会や要望活動を行う(中国経済連合会との合同委員会につき、同連合会との連携による)。

■関門連携による地域活性化

- ① 地域活性化に資する気運醸成

■関門地域内の交通基盤整備

- ① 二県二市、経済団体連携した道路整備促進

(6) 各地域委員会

各地域の産業経済に関する諸問題を調査研究し、意見を取りまとめ、九経連全体としての活動に反映することにより、その解決、実現を図ることを目的として、地域に根差した魅力ある九経連活動を展開する。

■地域に根差した活動強化

- ① 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業
- ② 講演会、視察会等による調査研究、会員意見交換会を通じ、各地域固有の課題の抽出と九経連活動への反映
- ③ 会員相互の交流・連携の促進

2. 九州地域戦略会議

(1) 九州地域戦略会議

官民一体となった九州独自の発展戦略の研究や具体的施策を推進する。

- ・メンバー：九州地方知事会（各県知事）、九経連会長および会長が指名する者、九州商工会議所連合会会長および会長の指名する副会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長
- ・テーマ：「第2期九州創生アクションプラン（JEWELS+）」の見直しほか
- ・第43回会合：2023年春／沖縄県
- ・第44回会合：2023年秋／佐賀県

(2) 夏季セミナー

産官学のトップリーダーが一堂に会し、九州の発展に向けた共同体意識を醸成し、様々な課題について討議・提言を行う。

- ・メンバー：九州地方知事会（各県知事以下三役等）、域内大学学長、各県議会議長、経済4団体の会員企業など
- ・第20回夏季セミナー：2023年8月／大分県

3. 懇談会

(1) 沖縄連携フォーラム

沖縄県経済団体会議との共催により、九州・沖縄の連携と両地域の相互理解、共通課題について意見交換、検討を行うとともに、解決を図る。

- ・開催地：沖縄県

(2) 九州経済懇談会

日本経済団体連合会（経団連）との共催により、わが国ならびに九州地域が当面する課題について、意見交換する。

- ・2024年3月4日／福岡市

(3) 産学連携懇談会

九州の発展戦略や産学連携に関する諸課題について意見交換する。

- ・主要テーマ：「知」の拠点強化、共同研究・オープンイノベーション、課題解決型プロジェクト、地方創生、産業活性化、グローバル化、九州に求められる人材育成・確保等
- ・2023年4月19日／福岡市

(4) 九州経済を考える懇談会

九州の経済団体*の長が、九州経済の現状と重要課題について共有するとともに、課題の解決に向けた方向性について議論する（年2回程度）。

※九州の経済団体：九州経済連合会、九州オープンイノベーションセンター、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、九州経済調査協会

(5) 九州領事会

在九州の総領事並びに名誉（総）領事と本会会員との交流の場を設定し、相互理解と協力関係の深化を図る（年1回程度）。

4. 事務局

(1) 全体的な取り組み

- ① 物価高騰に伴う負担増やコロナ禍への対応について、「コロナ禍での九経連行動指針」に類するメッセージを都度発信するとともに、会員・各地域の声を集め、国・自治体へ要請を行うなど、経済的苦境にある地域企業の事業継続に向けた支援に取り組む。
- ② 九州がアジア等海外諸国の成長とともに発展するため、海外政府機関・経済団体との間で締結したMOU（11か国・地域）等を活用し、九州の中小企業等の海外ビジネス展開の実現に向けた環境整備や対日投資の誘致、諸外国とのネットワーク強化を図る。
 - ・「九州プロモーションセンターinハノイ」を中核としたアセアン戦略の構築・実践
 - ・オール九州の官民による海外ミッション派遣
- ③ これまで以上に地域の情報を把握し課題解決につなげるため、各地域に「地域参事」（駐在担当者）を設置。地域課題と九州全体の戦略・動きを共有し、各委員会や九州地域戦略会議等を通じて実践的活動に取り組む。

(2) 会員サービス

- ① 事務局のデジタル化を推進し、タイムリーな情報発信を行うとともに、各種案内をはじめ会員との相互連絡を円滑にする。
- ② セミナーや懇談会など会員同士の交流機会を創出し、相互理解と一体感を醸成する。
- ③ 九経連「九州女性の会」（会員企業の女性経営者および女性管理職が参加）の活動を支援する。
- ④ 九経連の取り組みに関するアンケート等を適宜実施し、会員の声を事業計画（中期、単年度）などに反映し、実行に移していく。

(3) 広報

- ① 報道機関に対して、定期的、かつタイムリーな情報提供を行うなどPR強化を図る。
- ② ホームページのリニューアルや、メールマガジンの導入等により、活動実績や予定等をスピーディに提供することで発信力を強化し、本会活動への参画者増につなげる。
- ③ 九経連四季報（月報「あすの九州・山口」に変え）を発行、ホームページとの差別化や特集頁を中心に内容の充実を図り、会員にとって役立つ情報誌とする。

(4) 調査・研究等

- ① 国内他地域ブロックや域内各県等の取り組み状況を把握し、県域を越えた連携や官民連携などの可能性を探る。

(5) その他

- ① 地域の課題解決に貢献できる高い政策立案能力を持った人材育成に関する九州大学の取り組みに協力する。
（地域政策デザインスクール実行委員会）

(1) 西日本経済協議会

(2023年度幹事：北陸経済連合会

九経連内担当：総務国際部)

北陸、中部以西の6つの経済連合会※が連携して、西日本地域の共通の課題解決に向けた取り組みを展開するとともに、国等に要望する。

※6つの経済連合会：北陸経済連合会、(一社)中部経済連合会、(公社)関西経済連合会、(一社)中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)九州経済連合会

■総会：2023年10月27日/石川県金沢市

■要望：2023年11月8日/東京

(2) 九州・沖縄地方産業競争力協議会

(会長：九州経済連合会 会長

事務局：九州地方知事会、九州経済産業局、九経連 産業振興部)

第12回協議会では、「九州・沖縄地方成長産業戦略～九州・沖縄 Earth 戦略Ⅱ～※」(目標年度2025年度)について、2022年度以降のアクションプランやプロジェクトの進捗等について議論を行う。

※九州・沖縄が重点的に推進すべき事項と方向性を示す成長戦略の第2ステージとして、これまでの戦略4分野(①クリーン、②医療・ヘルスケア・コスメティック、③農林水産業・食品、④観光)のプロジェクトに、SDGs、先端技術、働き方改革、アフターコロナの視点を踏まえた横断的取り組みを推進。

■第12回協議会：9月/福岡市

(3) 福岡地域戦略推進協議会

(会長：九州経済連合会 名誉会長)

福岡地域戦略推進協議会(FDC)の活動※に経済界として参画し、意見出しや支援を行う。

※福岡都市圏を中心とした産学官民が一体となった公共的な場において、地域の成長戦略の策定から実施までを一貫して行う。

(4) 下関北九州道路建設促進協議会

(会長：九州経済連合会 会長

事務局：九経連 地域共創部)

関門地域の一体化と交流拡大、地域経済の活性化に寄与するため、下関北九州道路の早期実現に向けた活動を実施する。

(5) 東九州軸推進機構

(会長：九州経済連合会 会長

事務局：九経連 地域共創部)

東九州地域の産業・経済をはじめとする地域社会の活性化を図るため、高規格幹線道路による循環型高速交通ネットワークの整備等に向けた活動などを実施する。

(6) 九州航空宇宙開発推進協議会

(会長：九州経済連合会 会長

事務局：九経連 産業振興部)

九州地域の航空機産業の育成・拡大と宇宙産業の創出を図るため、産学官が一体となって技術レベルの向上や受注獲得のためのアプローチ支援等を実施。設立30周年を迎え策定した第3次アクションプラン(2022年4月)に基づき、今後取り組むべき事業・研究テーマについて展開。

(7) 九州経済国際化推進機構

(会長：九州経済連合会 会長

事務局：九経連 総務国際部、九州経済産業局)

九州の国際化・グローバル化に向け、九州経済産業局、九州各県、企業などとの連携を図り、国際会議※や海外との交流事業を実施する。

※環黄海経済・技術交流会議や日本(九州)・韓国経済交流会議など

(8) 九州大学学術研究都市推進協議会

(会長：九州経済連合会 会長

事務局：九州大学学術研究都市推進機構

九経連内担当：地域共創部)

九州大学学術研究都市構想の総仕上げに向けて産学官民がより一層連携し、新たなフェーズを迎える学術研究都市づくりを推進する。

(9) 九州IR推進協議会

(会長：九州経済連合会 会長

事務局：九経連 地域共創部、長崎県)

「オール九州」「官民連携」による、九州・長崎IRの早期開業に向けた取り組みへの協力。

(10) 九州の食輸出協議会

(会長：弓場秋信・弓場貿易(株)社長

事務局：九経連 地域共創部)

九州の生産者・食品製造業者等と九州に拠点を置く商社との連携や海外需要開拓に向けた協働を後押しし、九州の農林水産物および食品等の輸出拡大を目指す。

(11) 九州国際医療機構

(代表理事：中村雅史・九州大学病院長

事務局：九経連 地域共創部)

健康保険制度の望ましい運用の下、九州の医療界と産学官が連携することで、訪日外国人及び在留外国人患者に関して医療機関が抱える課題解消を促す。

さらに、外国人医療渡航を推進し、医療水準の向上・観光促進による経済発展を目指す。

(12) 知的財産権研究会

(事務局：九経連 産業振興部)
九州の産学官が一体となって知的財産権法をはじめとする様々な経済法の現状と課題について検討するため、毎月1回研究会を開催する。

(13) 九州DX推進コンソーシアム

(共同代表：九州経済連合会 会長、九州大学 総長
事務局：九経連 産業振興部、九州大学、福岡県、
デロイトトーマツグループ)
域内の自治体や企業、大学等、産学官金の関係者が一体となって、地域におけるデジタル人材の育成や、デジタル技術の活用による地域課題の解決と新たな産業の創造を推進し、持続可能な地域社会と経済発展の実現を目指す。

(14) 九州・沖縄文化力推進会議

(事務局：福岡県、九経連 地域共創部)
九州・沖縄・山口各地域における文化活動の推進と文化の発信による地域活性化に官民が連携して文化プログラムを実施。特に、今後開催される大規模国際スポーツイベント等を見据え、国内外から訪れる観光客に対し、新型コロナウイルスへの対応も鑑みながら、九州・沖縄・山口の各種文化をPRしていくとともにエリア内の周遊を促す。

報告事項 2-2

2023年度 収支予算

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2023年度 予算額 (A)	2022年度 予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産収入				
特定資産運用収入				
特定資産運用収入	450,000	290,000	160,000	
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,500,000	0	新入会目標30社
会費収入				
会費収入	294,770,000	296,100,000	△ 1,330,000	入退会差引後
雑収入				
受取利息収入	10,000	10,000	0	
その他収入	1,350,000	1,350,000	0	
事業活動収入計 (A)	298,080,000	299,250,000	△ 1,170,000	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	106,100,000	96,400,000	9,700,000	定期+調整給(0.1ヶ月)、職員採用
総会役員会費支出	5,700,000	6,300,000	△ 600,000	周年事業終了による減
会員懇談会費支出	4,800,000	4,300,000	500,000	西経協負担金の増
委員会費支出	47,800,000	47,400,000	400,000	
調査費支出	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000	ベトナム訪問団、スマート農業調査
刊行費支出	4,300,000	10,000,000	△ 5,700,000	会報誌を月刊から四季報に
旅費交通費支出	9,400,000	8,900,000	500,000	入会勧誘等企業訪問の増
通信費支出	2,200,000	2,200,000	0	
図書資料費支出	1,000,000	500,000	500,000	各県地方紙購読料の増
加盟団体費支出	2,500,000	2,500,000	0	
特別事業費支出	13,000,000	8,000,000	5,000,000	「ツール・ド・九州」関係費用他
研修費支出	500,000	600,000	△ 100,000	
交際費支出	600,000	600,000	0	
印刷費支出	2,800,000	3,000,000	△ 200,000	
消耗品費支出	600,000	800,000	△ 200,000	
諸税支出	300,000	300,000	0	
雑支出	200,000	200,000	0	
事業費支出計 (B)	203,800,000	196,000,000	7,800,000	
管理費支出				
役員報酬支出	19,000,000	22,100,000	△ 3,100,000	必要額を計上
退職給付費支出	0	0	0	
福利厚生費支出	23,300,000	22,000,000	1,300,000	社会保険料の増
家賃支出	35,900,000	35,900,000	0	
備品費支出	9,000,000	9,100,000	△ 100,000	
修繕費支出	1,900,000	1,600,000	300,000	ライセンス料等の増
管理費支出計 (C)	89,100,000	90,700,000	△ 1,600,000	
事業活動支出計 (D)=(B)+(C)	292,900,000	286,700,000	6,200,000	
事業活動収支差額 (E)=(A)-(D)	5,180,000	12,550,000	△ 7,370,000	

(単位:円)

科 目	2023年度 予算額 (A)	2022年度 予算額 (A)	増 減 (A)-(B)	備 考
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給与引当預金取崩収入	0	0	0	
周年事業引当預金取崩収入	0	4,000,000	△ 4,000,000	周年事業終了
投資活動収入計 (F)	0	4,000,000	△ 4,000,000	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当預金取得支出	11,000,000	9,800,000	1,200,000	充分分積み増し
減価償却引当預金取得支出	900,000	900,000	0	充分分積み増し
投資活動支出計 (G)	11,900,000	10,700,000	1,200,000	
投資活動収支差額 (H)=(F)-(G)	△ 11,900,000	△ 6,700,000	△ 5,200,000	
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	—	—	—	
財務活動収入計	—	—	—	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	—	—	—	
財務活動支出計	—	—	—	
財務活動収支差額	—	—	—	
Ⅳ. 予備費支出				
予備費支出 (I)	0	5,850,000	△ 5,850,000	
当期収支差額 (J)=(E)+(H)-(I)	△ 6,720,000	0	△ 6,720,000	
前期繰越収支差額 (K)	107,569,095	104,683,548	2,885,547	
次期繰越収支差額 (L)=(J)+(K)	100,849,095	104,683,548	△ 3,834,453	